

# ●メールの使いかた

オンラインサインアップをする (Eメール) ..	138	メールを管理する .....	160
Eメール/ライトメールについて ....	139	受信ボックス画面のメニューを使う .....	160
Eメールについて (ウィルコムEメール) .....	139	全受信メール画面のメニューを使う .....	161
Eメール機能の仕様 .....	139	受信メール詳細画面のメニューを使う .....	162
ライトメールについて .....	140	送信ボックス画面のメニューを使う .....	163
ライトメール機能の仕様 .....	140	送信メール詳細画面のメニューを使う .....	164
メールを起動する .....	140	メールを削除する .....	165
メールメニューについて .....	141	受信メールを別のフォルダに移動する .....	166
Eメールを作成して送信する .....	142	メールを保護する .....	166
宛先 (To) を入力する .....	142	メール一覧の表示方法を切り替える .....	167
宛先一覧画面のメニューを使う .....	143	メールの文字の大きさを設定する .....	168
件名/本文を入力する .....	144	メール本文/件名をコピーする .....	168
データを添付する .....	145	メール設定 .....	169
添付ファイルを変更/解除/再生する .....	146	アカウントごとの各種設定をする .....	170
Eメール作成画面のメニューを使う .....	146	受信する行数を制限する .....	171
Eメールを送信する .....	147	メール受信時にサーバーのEメールを削除する .....	171
作成したEメールを保存/予約する .....	147	返信先アドレスを設定する .....	172
保存したEメールを編集して送信する .....	148	返信時の受信メールの引用を設定する .....	172
送信を予約したメールを送る .....	148	署名を設定する .....	173
ライトメールを作成して送信する ...	148	差出人名を設定する .....	173
ライトメール作成画面のメニュー		Eメール自動受信を設定する .....	173
を使う .....	149	接続先をモード別に設定する .....	174
宛先のメニューを使う .....	149	送信アカウントを選択する .....	174
本文のメニューを使う .....	150	受信アカウントを選択する .....	175
作成したライトメールを保存する .....	150	ライトメール送信時の確認音を設定する .....	175
保存したライトメールを編集して送信する .....	151	受信メールを自動的にフォルダに振り分	
メールを受信/返信/転送する .....	151	ける (振り分け条件設定) .....	175
受信したメールを読む .....	151	振り分け条件を引用入力する (自動振分条件	
メールを自動的に受信して読む (パツと		一覧画面のメニュー) .....	176
みる) .....	151	振り分け条件一覧画面のメニューを使う .....	176
受信メール一覧から受信したメールを読む .....	152		
サーバーにEメールがあるかどうかを問			
い合わせる .....	154		
添付ファイルを表示/再生/保存する .....	154		
Eメールに返信する .....	155		
ライトメールに返信する .....	155		
送信/受信メールの宛先一覧画面の			
メニューを使う .....	156		
メールを転送する .....	157		
メール本文のURL/Eメールアドレス/			
電話番号を直接利用する .....	157		
メール本文のURLを利用する .....	158		
メール本文のEメールアドレスを利用する .....	158		
メール本文の電話番号を利用する .....	159		

## ● オンラインサインアップをする (Eメール)

Eメール

お買い上げ後は必ずオンラインサインアップ (無料) を行って、Eメールアドレスを取得していただく必要があります。オンラインサインアップを行わない場合、OperaやEメールが使用できません。

●取得できるEメールアドレスは以下のようになります。

XXXXXX @ △△.pdx.ne.jp

ユーザーネーム

お客様が自由に設定できます。

●半角英数字と「- (ハイフン)」、  
「\_ (アンダーバー)」で、4~20文  
字まで登録できます。

●1文字目は英字に限ります。

●英字はすべて小文字として取り扱われ  
ます。

ドメイン

ユーザーネーム登録後、自動的に付加されます。

●△△の部分は、ウィルコムにより指定された  
文字列です。

### ● ご注意

- オンラインサインアップは、電波状態の良い場所で行ってください。電波状態が悪い場所や移動中は、正しい設定ができないことがあります。
- 指定したユーザーネームと同じ名前がすでに登録されている場合、そのユーザーネームは使用できません。別のユーザーネームで登録し直してください。

### ● 待受画面で

④ または ④ ▶ ⑦⑧ 「オンラインサインアップ」 ▶ 画面の指示に従って設定 ▶ オンラインサインアップ完了後、⑧

### ● ご注意

●機種変更でWX300Kをご使用になる場合、以前にお使いの機種でオンラインサインアップを行っているときも上記の手順で接続し、設定をご確認ください。登録後の設定確認は以下の手順で行うことができます。

待受画面で ④ または ④ ▶ ⑦⑧ 「オンラインサインアップ」 ▶ ①② 「接続」 ▶ 画面の指示に従って設定を確認

●他の一般プロバイダでEメールを使用する場合は、ダイヤルアップ設定および接続設定、メールアカウント設定を行ってください (「アカウントごとの各種設定をする」170ページ)。

### ● お知らせ

●サインアップ情報を削除するには以下の手順で行います。

待受画面で ④ または ④ ▶ ⑦⑧ 「オンラインサインアップ」 ▶ ②③ 「削除」

## Eメールについて（ウィルコムのエメール）

WX300KでEメールを利用すると、Eメールアドレスを持つ世界中の人とメールをやりとりすることができます。

WX300KでEメールを利用すると、相手から送られてきたEメールはウィルコムのメールサーバーに蓄積されますので、電波の届かないところにおいても、電源が入ってなくても、後でウィルコムのメールサーバーから受信することができます。

### ■ Eメール機能の仕様

項目	送信	受信
件名	全角150文字、半角300文字まで	全角150文字、半角300文字まで
宛先	To、Cc、Bcc含めて、20件まで (1件分は半角64文字まで)	—
本文	全角20,000文字、半角40,000文字まで	全角20,000文字、半角40,000文字まで
添付ファイル	20データまで、合計350Kバイト以内	20データまで、合計350Kバイト以内

- ・添付ファイルは送信時にはエンコードされ、実際より大きな容量になります。添付ファイルの容量表示は、データフォルダでの容量とは異なります。
- ・送受信時の添付ファイルの容量表示例：約137バイト＝データフォルダ内のデータの容量表示：約100バイト

項目	最大件数	備考
受信メール保存数（保存容量）	900件（102～922Kバイト）*	保護できるのは最大受信件数の半分、または最大受信容量の半分です。
送信メール保存数（保存容量）	900件（102～922Kバイト）*	未送信、送信済および送信失敗を含みません。保護できるのは最大送信件数の半分、または最大送信容量の半分です。

\*：最大容量は「Eメール保存容量」で変更することができます（「メール設定」169ページ）。

### 🚫 ご注意

- 相手の受信機器によっては、一部正しく表示されない文字があります。
- 送受信できる文字数には、改行も含まれます。
- Eメールの全保存容量は、最大1Mバイト（1024Kバイト）です。

### 📢 お知らせ

- 相手から送られてきたEメールはウィルコムのメールサーバーに蓄積後、すぐにWX300Kに配信されます（オンラインサインアップで「Eメール自動受信」を設定している場合）。ただし、自動受信を設定できるのは、ウィルコムが提供するEメールアドレス（△△.pdx.ne.jp）のみです。  
WX300Kが電波の届かないところにあるときや、電源をOFFにしているときも、ウィルコムのメールサーバーでお客様に代わってEメールをお預かりしています。お預かりしたEメールがWX300Kで受信されるまで、一定の時間内でウィルコムのメールサーバーに蓄積されたメールの状況をライトメールで繰り返し通知します（オンラインサインアップで「各種通知（未確認メール通知）」を設定している場合）。
- 大きな添付ファイルを受信した場合、正常に受信できない場合があります。その場合、受信行数制限設定（171ページ）を「OFF」に設定してください。

## ライトメールについて

ライトメール

ライトメールは、ライトメール対応の電話機どうして文字メッセージをやり取りできます。電話番号を使用するため、オンラインサインアップしてなくても送受信が行えます。

### ■ ライトメール機能の仕様

メッセージに入力し送信できる文字数は、最大全角45文字、半角90文字までです。

項目	最大件数
受信メール保存数	100件
送信メール保存数	30件

#### ● ご注意

- ライトメールを送信するときは、送信先がライトメール対応機種である必要があります。
- WX300Kはフレーム機能とアニメーション絵文字には対応していません。
- ライトメールは、分計サービス（280ページ）を使用して送信することはできません。
- Pメール対応電話機に送信する場合、半角のカタカナ／英字／数字／記号のみで20文字まで送信できますが、機種によっては送信できない場合があります。

## ● メールを起動する

Eメール

ライトメール

以下の方法でEメール／ライトメールを起動できます。

☑から起動する	<p>▶ 待受画面で☑を押す</p> <p>メールメニューが表示されます。</p>
新着情報から起動する	<p>メールの新着情報から、受信したEメール／ライトメールを確認できます（「メールを自動的に受信して読む」151ページ）。</p>
メインメニューから起動する	<p>▶ 待受画面で☑【メニュー】▶【メール】を選択し、☑【選択】</p> <p>メールメニューが表示されます。</p>
アドレス帳から起動する	<p>アドレス帳からEメールアドレスや電話番号を選択し、Eメール／ライトメール作成画面を起動することができます（「アドレス帳を呼び出す」125ページ）。</p>

#### ● お知らせ

- メールメニューは、Eメール／ライトメールを統合したメニュー構成になっています。

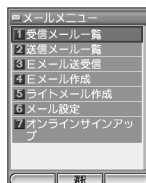
## ● メールメニューについて



メールメニューは、メールに関するさまざまな機能の入り口になります。

待受画面で

Ⓜを押す



以下の項目から選択します。

①.② 受信メール一覧	受信フォルダ* <sup>1</sup>	受信したメールが保存されています。
	フォルダ1* <sup>1</sup> } フォルダ20	受信したメールが、指定したフォルダに自動的に振り分けて保存されます（「受信メールを自動的にフォルダに振り分ける」175ページ）。
②.③ 送信メール一覧	送信済みメール* <sup>2</sup>	送信済みのメールが保存されています。
	送信待メール* <sup>2</sup>	いつでも送信できるように作成したメールを保存したり、送信に失敗したメールが保存されています。
	ドラフトメール* <sup>2</sup>	作成途中のメールが保存されています。
③.④ Eメール送受信	①.② 送受信	「送信待メール」の送信と、新しくメールが届いているかどうかを確認し、受信を行います。
	②.③ 送信	「送信待メール」すべての送信を行います（「送信を予約したメールを送る」148ページ）。
	③.④ 受信	新しくメールが届いているかどうかを確認します（「サーバーにEメールがあるかどうか問い合わせる」154ページ）。
④.⑤ Eメール作成	新しくEメールを作成したり、作成中のEメールを編集します（「Eメールを作成して送信する」142ページ）。	
⑤.⑥ ライトメール作成	新しくライトメールを作成したり、作成中のライトメールを編集します（「ライトメールを作成して送信する」148ページ）。	
⑥.⑦ メール設定	メール機能の各種設定ができます（「メール設定」169ページ）。	
⑦.⑧ オンラインサインアップ	Eメールをご利用いただくための設定を行います（「オンラインサインアップをする」138ページ）。	

\*<sup>1</sup>: 「受信ボックス表示」を「フォルダ表示」に設定している場合に表示されます（「メール設定」169ページ）。

\*<sup>2</sup>: 「送信ボックス表示」を「フォルダ表示」に設定している場合に表示されます（「メール設定」169ページ）。

## ● Eメールを作成して送信する

Eメール

新しくEメールを作成して送信します。作成したEメールは、すぐに送信せずに保存しておくこともできます。

### 待受画面で

▶ **「Eメール作成」**

Eメール作成画面が表示されます。

### Eメール作成画面



以下の項目を入力または選択します。

<b>アカウント</b>	<p>▶  <b>【選択】</b> ▶ リストからアカウントを選択し、 <b>【選択】</b></p> <p>あらかじめメールアドレスを複数登録している場合、Eメールを送信するときを利用するメールアドレスを選択します（「アカウントごとの各種設定をする」170ページ）。</p>
<b>宛先</b>	宛先を入力します（「宛先（To）を入力する」同ページ参照）。
<b>件名</b>	件名を入力します（「件名／本文を入力する」144ページ）。
<b>添付ファイル</b>	添付ファイルをデータフォルダまたはプロフィールから選択します（「データを添付する」145ページ）。
<b>本文</b>	本文を入力します（「件名／本文を入力する」144ページ）。

### お知らせ

- Eメール作成中に着信したり、 を押して作成を中断した場合は、作成していたEメール内容は一時的に保存されます。再度、Eメール作成を開始すると「作成中のメールを使用しますか?」と表示されます。「はい」を選択し、 **【選択】** を押すと、作成を再開できます。
- 送信に失敗したEメールを再度送信するには、送信に失敗したEメール（送信待メールとして保存される）を選択した後、 (F1) **【送信】** を押しします。

## 宛先（To）を入力する

Eメール

宛先を入力します。宛先は20件入力できます。入力できる文字数は1件につき半角64文字までです。

### Eメール作成画面で

**1** **「宛先入力」** を選択し、 **【選択】**

宛先一覧画面が表示されます。

**2** 宛先を入力し、 (F1) **【戻る】**

### お知らせ

- すでに入力した宛先は、宛先一覧画面で一覧表示されます。
- 複数のEメールアドレスを入力するときは、Eメールアドレスを「,」（カンマ）で区切ります。
- 入力した宛先をCcやBccに変更する場合は、「宛先一覧画面のメニューを使う」（143ページ）をご参照ください。

### 宛先一覧画面
















## 宛先一覧画面のメニューを使う

アドレス帳や送信履歴に登録されているEメールアドレスを宛先に引用することができます。また、すでに入力した宛先を変更／削除することができます。

### 宛先一覧画面で

#### 1 入力/変更/削除したい項目を選択 ▶ (F2) 【メニュー】

以下の項目から選択します。

記号	▶ 記号を選択し、  【確定】 半角記号を宛先に入力します。
定型文	▶ 定型文を選択し、  【選択】 定型文を宛先に入力します。
コピー	▶  でコピーしたい範囲の始点を選択し、  【始点】 ▶ 終点を選択し、  【終点】 文字列をコピーします。
カット	▶  でカットしたい範囲の始点を選択し、  【始点】 ▶ 終点を選択し、  【終点】 文字列をカットします。
貼り付け	コピーまたはカットした文字列を貼り付けます。
アドレス帳引用	▶ アドレス帳からEメールアドレスを選択し、  【選択】 アドレス帳からEメールアドレスを引用します。
送信履歴引用	▶ 送信履歴を選択し、  【選択】 送信したEメールのアドレスを引用します。
プロフィール引用	▶ Eメールアドレスを選択し、  【選択】 プロフィールからEメールアドレスを引用します。
Toへ変更*	宛先をToに変更します。
Ccへ変更*	宛先をCcに変更します。
Bccへ変更*	宛先をBccに変更します。
1件削除*	▶ 「はい」を選択し、  【選択】 選択している宛先を削除します。
全件削除*	▶ 「はい」を選択し、  【選択】 すべての宛先を削除します。

\*：宛先を複数入力し、入力した宛先を選択しているときのみ、表示されます。

#### 2 (F1) 【戻る】を押す

Eメール作成画面に戻ります。

#### ご注意

- 宛先に入力できるのは、To、Cc、Bcc含めて20件まで（1件分は半角64文字まで）です。
- 入力した宛先が正しいか、送信の前に確認してください。



- To、Cc、Bccについては下記をご参照ください。

To	通常の宛先です。Toの宛先がないと、Eメールは送信できません。
Cc	メールの内容を複数の宛先にコピーして送る場合に使用します。受信者は他の受信者を知ることができます。Toは直接の宛先、Ccは参考までにといったニュアンスがあります。
Bcc	メールの内容を複数の宛先にコピーして送る場合に使用します。Ccとは異なり、Bccで送った宛先は送信メールに表示されないため、受信者に知られたい宛先に送る場合に使用します。送信先のEメールアドレスを、Toも含めて誰にも知られたい場合は、Toにお客様のアドレスを入力します。

- 引用は、Eメール作成画面のメニュー（「Eメール作成画面のメニューを使う」146ページ）を使って行うこともできます。

## 件名／本文を入力する

Eメール

件名および本文を入力します。件名は全角150文字、半角300文字まで、本文は全角20,000文字、半角40,000文字まで入力できます。

### Eメール作成画面で

「 (件名入力)」を選択し、件名を入力 ▶  ▶ (本文入力) を選択し、本文を入力

### ご注意

- 件名／本文に半角カナを使用することはできません。
- 入力可能な文字種／文字数は、WX300Kから送信／受信可能かどうかの基準です。Eメールを作成するときは、相手先が受信可能な文字種／文字数についてもご確認ください。
  - ・ PHS（同機種を含む）や携帯電話、またはパソコンなどに絵文字を入れて送信すると、正しく表示されない場合があります。
  - ・ 異なる機種のPHSや携帯電話、またはパソコンなどに送信した場合、件名や本文の文字数によっては、相手先で文章が途中で切れてしまう可能性があります。
- 本文に入力する際、改行せずに全角151文字、半角301文字以上入力すると、強制的に改行されます。









- 文字入力の方法については、「文字の入力と設定」（105ページ）をご参照ください。
- 件名や本文を入力するときは、文字入力メニューを利用してさまざまな方法で引用や入力ができます（「文字入力メニューを使う」111ページ）。



データフォルダから、最大350Kバイトまでのデータを選択し、Eメールに添付することができます。

添付可能なデータは以下のとおりです。

アイコンとデータの種類	保存されているフォルダ	拡張子
 画像	画像	.jpg, .jpeg, .gif, .png, .bmp
 サウンド (MIDIファイル)	サウンド	.mid, .midi
 サウンド (feel soundファイル)	サウンド	.dxm
 Text/HTML	インターネット	.htm, .html
 vCard (アドレスカード)	名刺	.vcf
 その他のファイル	その他	.txt、上記以外のファイル形式




### ● ご注意

- 著作権保護が設定されたファイルは添付できません。
- WX300Kで利用/表示できないファイル形式でも、Eメールに添付することができます。

### Eメール作成画面で

「 (添付ファイル追加)」を選択し、 【選択】

以下の項目から選択します。

データフォルダ	▶ 添付するデータを選択し、  【選択】 ▶  (F1) 【戻る】 データフォルダのデータを添付します。
プロフィール	▶  (F1) 【戻る】を押す 電話番号などのプロフィール情報をvCard形式で添付します。

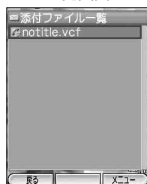
### ● お知らせ

- 添付ファイル一覧画面では、添付したファイルの変更/削除をしたり、添付するデータを再生して内容を確認することができます (「添付ファイルを変更/解除/再生する」146ページ)。

### 添付選択画面



### 添付ファイル一覧画面



## メールの使いかた


### ■ 添付ファイルを変更／解除／再生する

添付ファイル一覧画面から、添付ファイルの変更／解除／再生ができます。

#### 添付ファイル一覧画面で


#### 添付ファイルを選択 ▶ (F2) [メニュー]

以下の項目から選択します。

再生	選択した添付ファイルを表示（画像の場合）または再生（メロディなどの場合）します。WX300Kで表示／再生できないファイルの場合は、選択できません。
ファイル添付	添付ファイルを追加します。
削除	▶ 「はい」を選択し、  【選択】 選択した添付ファイルを削除します。

### Eメール作成画面のメニューを使う

Eメール























Eメール作成画面のメニューから、宛先一覧画面のメニューと同様に他機能に登録されているEメールアドレスを「（宛先入力）」に引用することができます。また、メニューには、作成中のEメールを保存する機能もあります。

#### Eメール作成画面で


「（宛先入力）」、「（件名入力）」、「（添付ファイル追加）」、または「（本文入力）」を選択

#### ▶ (F2) [メニュー]

以下の項目から選択します。

記号	▶  記号を選択し、  【選択】 記号を入力します。
顔文字 <sup>*1</sup>	▶  顔文字を選択し、  【選択】 顔文字を本文と件名に入力します。
絵文字 <sup>*1*2</sup>	▶  絵文字を選択し、  【選択】 絵文字を本文に入力します。
定型文	▶  定型文を選択し、  【選択】 定型文を入力します。
コピー	▶  でコピーしたい範囲の始点を選択し、  【始点】 ▶ 終点を選択し、  【終点】 文字をコピーします。
カット	▶  でカットしたい範囲の始点を選択し、  【始点】 ▶ 終点を選択し、  【終点】 文字をカットします。
貼り付け	コピーまたはカットした文字を貼り付けます。
アドレス帳引用	▶  アドレス帳からEメールアドレスを選択し、  【選択】 アドレス帳の電話番号やEメールアドレスなどを呼び出して入力します。
送信履歴引用 <sup>*2</sup>	▶  送信履歴を選択し、  【選択】 送信したEメールのアドレスを引用します。
プロフィール引用	▶  Eメールアドレスを選択し、  【選択】 自分のプロフィールから電話番号やEメールアドレスを呼び出して入力します。
ブックマーク引用 <sup>*1</sup>	▶  ブックマークを選択し、  【確定】 ブックマークに登録されているURLを呼び出して入力します。

メモ帳引用*1	<p>▶ メモ帳を選択し、<b>⊙</b>【選択】</p> <p>メモ帳に登録されているメモ内容呼び出して入力します。</p>
コード入力*1	<p>▶ コードを入力し、<b>⊙</b>【OK】</p> <p>読みのわからない文字を、漢字コードを使って入力します。</p>
保存	作成したEメールを保存します（「作成したEメールを保存／予約する」同ページ参照）。
送信予約	<p>送信待メールへ保存します。</p> <p>「一括送信」（163ページ）、「送受信」（148ページ）でまとめて送信することができます。</p>
編集中止	編集を中止します。


\*1：「（宛先入力）」選択時は、表示されません。

\*2：「（件名入力）」選択時は、表示されません。

### ご注意

- すでにTo、Cc、Bcc含めて20件（1件分は半角64文字まで）の宛先内容が入力されている場合は、引用入力できません。

### お知らせ

- 上記方法で入力した宛先はすべてTo宛先（通常の宛先）として登録されます。2件以上の宛先を入力する場合は、1件目の宛先を入力した後、を押すと2件目を入力する宛先入力欄が表示されます。3件目以降も同様の手順で行います。

## Eメールを送信する

**E**メール

### Eメール作成画面で

**⊙** (F1) 【送信】または 

送信したメールは「送信メール一覧」の「送信ボックス」に保存されます。

### ご注意

- 入力した宛先や内容が正しいかどうか、送信の前に確認してください。
- 通話中は、Eメールを送信することができません。

### お知らせ

- ウィルコムが提供するEメールを送信する場合は、メール接続先を「CLUB AIR-EDGE」に設定してください（「接続先をモード別に設定する」174ページ）。
- 送信ボックスのメール表示方法を「フォルダ表示」（169ページ）に設定している場合、送信したEメールが「送信済メール」に保存されます。何らかの理由で送信に失敗した場合は、「送信待メール」に保存されます。

## 作成したEメールを保存／予約する

**E**メール

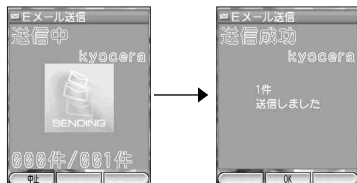
### Eメール作成画面で

**⊙** (F2) 【メニュー】 ▶ 【保存】または【送信予約】

保存または送信予約をしたEメールは、「送信メール一覧」の「送信ボックス」に保存されます。

### お知らせ

- 送信ボックスのメール表示方法を「フォルダ表示」（169ページ）に設定している場合、Eメールは以下のフォルダにそれぞれ保存されます。
  - ・「保存」したEメール：「ドラフトメール」
  - ・「送信予約」したEメール：「送信待メール」
- 「保存」または「送信予約」したEメールを後で編集したり、送信することができます（「保存したEメールを編集して送信する」148ページ）。



## 保存したEメールを編集して送信する

Eメール

保存されたEメールは、「送信メール一覧」の「送信ボックス」に保存されています。

待受画面で

1 ▶ 2. **「送信メール一覧」 ▶ 保存メールを選択** ▶ (F2) **【メニュー】 ▶ 「編集」を選択し、** **【選択】**

新規作成の場合と同様に、編集したい項目を選択し、内容を編集することができます。

2 **編集後、** (F1) **【送信】または**

新規作成の場合と同様に、送信せずに再保存することもできます（「作成したEメールを保存／予約する」147ページ）。また、編集せずに送信することもできます。

お知らせ

● 送信ボックスのメール表示方法を「フォルダ表示」（169ページ）に設定している場合、Eメールは「ドラフトメール」に保存されます。「ドラフトメール」から編集して送信する場合は、以下の手順で行います。

待受画面で ▶ 2. **「送信メール一覧」 ▶ 「ドラフトメール」を選択し、** **【選択】 ▶ 保存メールを選択 ▶** (F2) **【メニュー】 ▶ 「編集」を選択し、** **【選択】 ▶ 編集後、** (F1) **【送信】または**

## 送信を予約したメールを送る

Eメール

あらかじめ作成しておいた複数のEメールを「送信待メール」に保存し、Eメールをまとめて送ることができます。

待受画面で

▶ 3. **「Eメール送受信」 ▶ 2. **「送信」****

お知らせ

● 2. **「送信」** のかわりに 1. **「送受信」** を押すと、メールの一括送信と同時に一括受信もできます。

## ライトメールを作成して送信する

ライトメール

新しくライトメールを作成して送信します。作成したライトメールは、すぐに送信せずに保存しておくこともできます。

待受画面で

▶ 5. **「ライトメール作成」 ▶ 宛先電話番号を入力し、** **▶ 本文を入力、**

(F1) **【送信】または**

送信したライトメールは、「送信メール一覧」の「送信ボックス」に保存されます。

ご注意

- 相手の電話機の状態が、留守番電話サービス中／電源が入っていない／通話圏外／通話中のときは、ライトメールを送信しても相手に受信されません。
- 相手の電話機がライトメール非対応の場合は、ライトメールを送信しても通常の着信動作を行います。
- 相手の電話機の種類によっては一部表示できない文字があります。
- 送信メールは、30件まで保存されます。30件を超えると古いメールから自動的に削除されます。
- ライトメールは分計発信（280ページ）を使用してメールを送信することはできません。
- 送信ボックスのメール表示方法を「フォルダ表示」（169ページ）に設定している場合、送信したライトメールは「送信済メール」に保存されます。
- 送信に失敗し「送信待メール」に保存されたライトメールは、「メール送受信」では送信されません。
- 通話中は、ライトメールを送信することはできません。

ライトメール  
作成画面





- 電話番号に入力できる桁数は32桁までです。
- 本文に入力できる文字数は全角45文字、半角90文字までです。
- 文字入力の方法については、「文字の入力と設定」(105ページ)をご参照ください。
- 本文を入力するときは、文字入力メニューを利用してさまざまな方法で引用や入力ができます(「文字入力メニューを使う」111ページ)。
- ライトメール作成中に着信したり、を押して作成を中断した場合は、作成していたライトメール内容は一時的に保存されます。再度、ライトメール作成を開始すると「作成中のメールを使用しますか?」と表示されます。「はい」を選択し、【選択】を押すと、作成を再開できます。
- 送信に失敗したライトメールは、保存メールを選択した後、 (F1)【送信】を押すと、あらためて送信できます。

## ライトメール作成画面のメニューを使う



ライトメール作成画面のメニューから以下の機能を使用できます。

### 宛先のメニューを使う

#### ライトメール作成画面で

「 (宛先入力)」を選択 ▶ (F2) [メニュー]

以下の項目から選択します。


















アドレス帳引用	▶ 名前を選択し、【OK】▶ 送信する電話番号を選択し、【選択】 アドレス帳から電話番号を引用します。
送信履歴引用	▶ 送信する電話番号を選択し、【選択】 送信したライトメールの電話番号を引用します。
発信履歴引用	▶ 送信する電話番号を選択し、【選択】 発信履歴から電話番号を引用します。
着信履歴引用	▶ 送信する電話番号を選択し、【選択】 着信履歴から電話番号を引用します。
ダイヤルメモ引用	▶ 送信する電話番号を選択し、【選択】 ダイヤルメモから電話番号を引用します。
プロフィール引用	▶ 送信する電話番号を選択し、【選択】 プロフィールから電話番号を引用します。
184発信	作成したライトメールを自分の電話番号を通知しないで送信します。
186発信	作成したライトメールを自分の電話番号を通知して送信します。
保存	作成したライトメールを保存します(「作成したライトメールを保存する」150ページ)。
編集中止	▶ 「はい」を選択し、【選択】 入力または作成を中止し、メニューに戻ります。

## ■ 本文のメニューを使う

### ライトメール作成画面で

#### 「(本文入力)」を選択 ▶ (F2) [メニュー]

以下の項目から選択します。

記号	▶ 「半角記号」または「全角記号」を選択し、  【選択】 ▶ 記号を選択し、  【確定】 記号を本文に入力します。
顔文字	▶ 顔文字を選択し、  【選択】 顔文字を本文に入力します。
絵文字	▶ 絵文字を選択し、  【確定】 絵文字を本文に入力します。
定型文	▶ 定型文を選択し、  【OK】 定型文を本文に入力します。
コピー	▶  でコピーしたい範囲の始点を選択し、  【始点】 ▶ 終点を選択し、  【終点】 文字をコピーします。
カット	▶  でカットしたい範囲の始点を選択し、  【始点】 ▶ 終点を選択し、  【終点】 文字をカットします。
貼り付け	コピーまたはカットした文字を貼り付けます。
アドレス帳引用	▶ 名前を選択し、  【OK】 ▶ 引用したい項目を選択し、  【選択】 アドレス帳の電話番号やEメールアドレスなどを呼び出して入力します。
プロフィール引用	▶ 引用したい項目を選択し、  【選択】 自分のプロフィールを呼び出して入力します。
ブックマーク引用	▶ ブックマークを選択し、  【確定】 ブックマークに登録されているURLを呼び出して入力します。
メモ帳引用	▶ メモ帳を選択し、  【選択】 メモ帳に登録されているメモの内容を呼び出して入力します。
コード入力	▶ コード入力し、  【OK】 読みのわからない文字を、漢字コードを使って入力します。
184発信	作成したライトメールを自分の電話番号を通知しないで送信します。
186発信	作成したライトメールを自分の電話番号を通知して送信します。
保存	作成したライトメールを保存します（「作成したライトメールを保存する」同ページ参照）。
編集中止	入力または作成を中止し、メニューに戻ります。

## 作成したライトメールを保存する



### ライトメール作成画面で

#### (F2) [メニュー] ▶ 「保存」を選択し、 【選択】

保存したライトメールは、「送信メール一覧」に保存されます。



- 送信ボックスのメール表示方法を「フォルダ表示」(169ページ)に設定している場合、保存したライトメールは「ドラフトメール」に保存されます。
- 保存したライトメールは後で編集したり、送信することができます(「保存したライトメールを編集して送信する」同ページ参照)。

## 保存したライトメールを編集して送信する

ライトメール

保存されたライトメールは、「送信メール一覧」の「送信ボックス」に保存されています。

待受画面で

- 1 ▶ 2. 「送信メール一覧」 ▶ 保存メールを選択 ▶ (F2) [メニュー] ▶ 「編集」を選択し、 【選択】

新規作成の場合と同様に、編集したい項目を選択し、内容を編集することができます。

- 2 編集後、 (F1) 【送信】または (F1) 【送信】または

新規作成の場合と同様に、送信せずに保存することもできます(「作成したライトメールを保存する」150ページ)。また、編集せずに送信することもできます。



- 送信ボックスのメール表示方法を「フォルダ表示」(169ページ)に設定している場合、ライトメールは「ドラフトメール」に保存されます。「ドラフトメール」から編集して送信する場合は、以下の手順で行います。

待受画面で ▶ 2. 「送信メール一覧」 ▶ 「ドラフトメール」を選択し、 【選択】 ▶ 保存メールを選択 ▶ (F2) [メニュー] ▶ 「編集」を選択し、 【選択】 ▶ 編集後、 (F1) 【送信】または

- 送信済ライトメールは、新たな送信済メールとして新規保存されます。

## メールを受信／返信／転送する

Eメール

ライトメール

### 受信したメールを読む

Eメール

ライトメール

#### ■ メールを自動的に受信して読む (パッとみえる)

Eメールやライトメールを受信した場合、メール受信音や待受画面の表示で、メールの受信をお知らせします。「パッとみえる」とは、この新着情報表示で 【選択】を押すだけで最新のメールを見ることができる機能です。

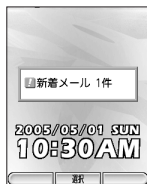
待受画面 (新着情報表示画面) で

新着情報表示を確認し、 【選択】または

#### ● ご注意

- 自動受信できるEメールはウィルコムが提供するEメールのアカウントに限られます。自動受信をするには、オンラインサインアップ (138ページ) でEメール自動受信の設定を行ったうえで「Eメール自動受信機能」(173ページ) の設定を行ってください。
- 待受画面 (新着情報表示画面) で または を押した場合は、「パッとみえる」が使用できなくなります。この場合は、「受信メール一覧」から確認できます(「受信メール一覧から受信したメールを読む」152ページ)。

新着情報表示画面



- 新着メールが複数ある場合もEメール／ライトメールを問わず、最新のメールの内容のみが表示されます。
- その他に未読メールがある場合は、「受信メール一覧」から確認できます(「受信メール一覧から受信したメールを読む」152ページ)。
- 「不在着信 △件」と「新着メール △件」が同時に表示されているとき、 を押すと、新着メールのみを確認することができます。
- メール起動中、「パッとみえる」は無効になります。

## ■ 受信メール一覧から受信したメールを読む

受信したメールは「受信メール一覧」の「全受信メール」に保存されます。確認したい受信メールを選択すると、内容が表示されます。

### 待受画面で

☑ ▶ ①▶ 「受信メール一覧」 ▶ メールを選択し、⊙【選択】

上記の操作で、選択した受信メールの内容が表示されます（受信メール詳細画面）。

### 全受信メール画面



### 受信メール詳細画面 (例：ライトメール)



### お知らせ

● 受信ボックスのメール表示方法を「フォルダ表示」（169ページ）に設定している場合、Eメール/ライトメールは「受信フォルダ」または「フォルダ1」～「フォルダ20」のそれぞれに保存されます。「受信フォルダ」または「フォルダ1」～「フォルダ20」から受信メールを確認する場合は、以下の手順で行います。

待受画面で ☑ ▶ ①▶ 「受信メール一覧」 ▶ 「受信フォルダ」または「フォルダ1」～「フォルダ20」を選択し、⊙【選択】 ▶ メールを選択し、⊙【選択】















● 受信メール詳細画面では、以下の操作を行うことができます。

- ・ ⊙ : 1行ずつ表示をスクロールします。
- ・ ▼ (PAGE) : 次のページへスクロールします。
- ・ ▲ (PAGE) : 前のページへスクロールします。
- ・ ⏪ : フォルダ内一覧画面に戻ります。
- ・ ⏩ : 待受画面に戻ります。
- ・ ⊙ (F2) 【メニュー】 : メニューを表示し、メールの返信や削除など、さまざまな機能をご使用できます（「受信メール詳細画面のメニューを使う」162ページ）。

- Eメールの受信メールは最大保存量の922Kバイトを超えると、既読の古いメール（保護されていないメール）から自動的に削除されます。
- ライトメールの受信メールは100件まで保存されます。100件を超えると既読の古いメール（保護されていないメール）から自動的に削除されます。
- 受信ボックスでは、Eメール/ライトメールを統合して取り扱います。受信したメールの種別はアイコンで判断できます。



- 各画面のアイコン表示は、以下のようになっています。

■受信ボックス画面のアイコン	
	受信フォルダ：受信メールが一切保存されていない場合 フォルダ1～20：受信メールが一切保存されていない場合
	受信フォルダ：受信メールが1件以上保存されていて、すべて既読の場合 フォルダ1～20：受信メールが1件以上保存されていて、すべて既読の場合
	受信フォルダ：未読メールがある場合 フォルダ1～20：未読メールがある場合
■フォルダ内一覧画面、送信済/待メール一覧画面のアイコン	
	未読ライトメール/送信待ライトメール
	未読Eメール/送信待Eメール
	既読ライトメール/ドラフトライトメール
	既読Eメール/ドラフトEメール
	送信済Eメール
	送信済ライトメール
■受信メール詳細画面、送信済/待メール詳細画面のアイコン	
	日時
	差出人：名前または、Eメールアドレス
	件名
	添付ファイル
	宛先

## サーバーにEメールがあるかどうかを問い合わせる

Eメール

サーバーに新しいEメールが届いているかどうかを確認し、Eメールが届いている場合は受信をします。「Eメール自動受信機能」(173ページ)の「Eメール自動受信」の設定にかかわらず、任意のタイミング(電波の届かない場所にいた後など)でEメールを受信することができます。

### 待受画面で

✉ ▶ 3.0 [Eメール送受信] ▶ 3.0 [受信]

### 🔔 ご注意

● メール設定の受信アカウント設定(「受信アカウントを選択する」175ページ)で、「毎回設定」を選択しているときは、受信アカウント選択画面が表示されます。その場合は、以下の操作を行います。

受信アカウント選択画面でアカウントを選択し、🔍【選択】▶ ⓪ (F2)【受信】

● Eメール受信について

- ・文字数が多いEメールの場合、表示に時間がかかることがあります。
- ・一部の文字を変更したり、画像ファイル付きEメールは正常に表示できない場合があります。
- ・受信したEメールの内容によっては、正常に表示できない場合があります。

### 📢 お知らせ

- Eメール受信中、画面の下部に「△△△/○○○件」と数値が表示されます。これは、「受信中のメール数」を表しています。
- フォルダ内一覧画面では、画面の右上に「未: △△△件」と数値が表示されます。これは、「未読メール数」を表しています。
- 未読メールがある場合、ピクト表示エリア(メインディスプレイ)(24ページ)に「✉」が表示されます。
- Eメール受信に失敗したときは、ピクト表示エリア(メインディスプレイ)(24ページ)に「✉」が表示されます。電波状態の良い場所で「Eメール送受信」をやり直してください。

## 添付ファイルを表示/再生/保存する

Eメール

全受信メール画面または受信メール詳細画面から、添付ファイルの一覧を表示することができます。添付ファイル一覧画面では、添付ファイルの表示/再生の他、添付ファイルをデータフォルダへ保存することができます。

### 全受信メール画面/受信メール詳細画面で

⓪ (F2)【メニュー】▶ 「添付ファイル」を選択し、🔍【選択】▶ 添付ファイルを選択▶

⓪ (F2)【メニュー】

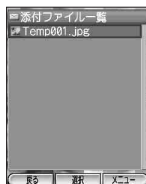
以下の項目から選択します。

1.0 表示/再生	選択した添付ファイルを表示/再生します。表示/再生できない添付ファイルは選択できません。
2.0 保存	▶ ファイル名を確認または修正し、🔍【保存】▶ 「はい」を選択し、🔍【保存】 選択した添付ファイルをデータフォルダに保存します。
3.0 詳細表示	選択した添付ファイルの詳細情報を表示します。

### 🔔 ご注意

● WX300Kで取り扱うことのできない添付ファイルは、表示/再生することができません。

添付ファイル  
一覧画面





- 受信ボックスのメール表示方法を「フォルダ表示」(169ページ)に設定している場合、Eメールは「受信フォルダ」または「フォルダ1」～「フォルダ20」のそれぞれに保存されます。「受信フォルダ」または「フォルダ1」～「フォルダ20」から添付ファイルを表示/再生/保存する場合は、以下の手順で行います。  
待受画面で☑▶①▶「受信メール一覧」▶「受信フォルダ」または「フォルダ1」～「フォルダ20」を選択し、⊙【選択】▶メールを選択▶⊙(F2)【メニュー】▶「添付ファイル」を選択し、⊙【選択】▶添付ファイルを選択▶⊙(F2)【メニュー】▶①▶「表示/再生」、②▶「保存」、または③▶「詳細表示」
- 添付ファイル一覧画面からの表示/再生は、以下の手順で行います。  
添付ファイル一覧画面でデータを選択し、⊙【選択】

## Eメールに返信する

Eメール

受信したEメールに返信します。「返信」は差出人に返信されます。Reply-Toが設定されている場合には、そのメールアドレスに返信します。「全員に返信」は受信メールに含まれる複数の宛先(Cc含む)に返信します。ライトEメールを設定している場合は、返信できません。

全受信メール画面/受信メール詳細画面で

⊙(F2)【メニュー】▶「返信」または「全員へ返信」を選択し、⊙【選択】▶本文を編集▶⊙(F1)【送信】

または⊙



- 受信ボックスのメール表示方法を「フォルダ表示」(169ページ)に設定している場合、Eメール「受信フォルダ」または「フォルダ1」～「フォルダ20」のそれぞれに保存されます。「受信フォルダ」または「フォルダ1」～「フォルダ20」から返信する場合は、以下の手順で行います。  
待受画面で☑▶①▶「受信メール一覧」▶「受信フォルダ」または「フォルダ1」～「フォルダ20」を選択し、⊙【選択】▶メールを選択▶⊙(F2)【メニュー】▶「返信」または「全員へ返信」を選択し、⊙【選択】▶本文を編集▶⊙(F1)【送信】
- 返信時は、件名の先頭に自動的に「Re:」を付加します。  
・「Re:」が付加された結果、件名として文字数が超過してしまう場合は、件名の末尾から削除されます。  
・別の件名に編集することもできます。  
・すでに「Re:」が付加されている受信メールへの返信では、「Re:」を付加しません。
- 返信時に、受信メールの本文を引用して返信メールの本文に付加することができます(「返信時の受信メールの引用を設定する」172ページ)。
- 引用した件名/本文などに、WX300Kで表示できない文字が含まれている場合、スペースに置き換えて引用されることがあります。また、半角カナは全角カナに置き換えられます。
- 「全員へ返信」の場合、差出人以外はCc宛先になります。

## ライトメールに返信する

ライトメール

受信したライトメールに返信します。

全受信メール画面/受信メール詳細画面で

⊙(F2)【メニュー】▶「返信」を選択し、⊙【選択】▶本文を編集▶⊙(F1)【送信】または⊙



- 受信したライトメールを、Eメールで返信することはできません。



- 受信ボックスのメール表示方法を「フォルダ表示」(169ページ)に設定している場合、ライトメールは「受信フォルダ」または「フォルダ1」～「フォルダ20」のそれぞれに保存されます。「受信フォルダ」または「フォルダ1」～「フォルダ20」からライトメールに返信する場合は、以下の手順で行います。  
待受画面で☑▶①▶「受信メール一覧」▶「受信フォルダ」または「フォルダ1」～「フォルダ20」を選択し、⊙【選択】▶メールを選択▶⊙(F2)【メニュー】▶「返信」を選択し、⊙【選択】▶本文を編集▶⊙(F1)【送信】または⊙
- 受信したライトメールに返信する場合、返信メールの本文には受信メール本文が自動的に引用されます。

## 送信／受信メールの宛先一覧画面のメニューを使う

全受信メール画面、送信ボックス画面、および送信／受信メールの詳細画面から、送信／受信メールの宛先一覧画面のメニューを表示することができます。

全受信メール画面／送信ボックス画面、および送信受信メール詳細画面で

○ (F2) [メニュー] ▶ **宛先一覧** を選択し、● [選択] ▶ **Eメールアドレスまたは  
ライトメールの宛先を選択** ▶ ○ (F2) [メニュー]

以下の項目から選択します。

アドレス帳登録	新規登録	新しくアドレス帳データを作成します（「アドレス帳の各項目を登録する」120ページ）。
	追加登録	▶ アドレス帳を選択し、● [選択] ▶ 登録する場所を選択し、● [選択] ▶ ○ (F1) [登録] ▶ 「はい」を選択し、● [選択]  すでに登録されているアドレス帳データに、Eメールアドレスを追加登録します。
発信*2		選択した電話番号に電話をかけます。
184発信*2		選択した電話番号に184発信（自分の電話番号を通知しない）します。
186発信*2		選択した電話番号に186発信（自分の電話番号を通知する）します。
分計発信*2		選択した電話番号に料金分計サービスを利用して電話をかけます（「料金分計サービスについて」280ページ）。
184分計発信*2		選択した電話番号に、184発信（自分の電話番号を通知しない）と料金分計サービスを利用して電話をかけます（「料金分計サービスについて」280ページ）。
186分計発信*2		選択した電話番号に、186発信（自分の電話番号を通知する）と料金分計サービスを利用して電話をかけます（「料金分計サービスについて」280ページ）。
ライトメール作成*2		選択した電話番号を宛先としたライトメールを作成します（「ライトメールを作成して送信する」148ページ）。
Eメール作成*1		選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します（「Eメールを作成して送信する」142ページ）。

\*1：Eメールアドレスを選択している場合のみ表示されます。

\*2：ライトメールの宛先を選択している場合のみ表示されます。

### お知らせ

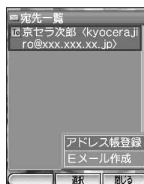
● 受信ボックスのメール表示方法を「フォルダ表示」（169ページ）に設定している場合、Eメールまたはライトメールは「受信フォルダ」または「フォルダ1」～「フォルダ20」のそれぞれに保存されます。「受信フォルダ」または「フォルダ1」～「フォルダ20」から送信／受信メールの宛先一覧画面のメニューを使う場合は、以下の手順で行います。

待受画面で ▶ 「受信メール一覧」 ▶ 「受信フォルダ」または「フォルダ1」～「フォルダ20」を選択し、● [選択] ▶ メールを選択 ▶ ○ (F2) [メニュー] ▶ 「宛先一覧」を選択し、● [選択] ▶ Eメールアドレスまたはライトメールの設定を選択 ▶ ○ (F2) [メニュー] ▶ 以降の手順は操作手順の表をご参照ください。

● 送信ボックスのメール表示方法を「フォルダ表示」（169ページ）に設定している場合、送信または送信予約したメールは「送信済メール」または「送信待メール」に保存されます。「送信済メール」または「送信待メール」から送信／受信メールの宛先一覧画面のメニューを使う場合は、以下の手順で行います。

待受画面で ▶ 「送信済メール」または「送信待メール」を選択し、● [選択] ▶ メールを選択 ▶ ○ (F2) [メニュー] ▶ 「宛先一覧」を選択し、● [選択] ▶ Eメールアドレスまたはライトメールの宛先を選択 ▶ ○ (F2) [メニュー] ▶ 以降の手順は操作手順の表をご参照ください。

宛先一覧画面



## メールを転送する



受信したEメールを、他のEメールアドレスに転送することができます。  
また、選択したライトメールは、他のライトメール対応電話機へライトメールで転送することができます。

### 全受信メール画面/受信メール詳細画面で

○ (F2) [メニュー] ▶ 「転送」を選択し、● 【選択】 ▶ 宛名と本文を編集 ▶ ○ (F1) 【送信】 または

#### ご注意

- 受信したライトメールを、Eメールで転送することはできません。

#### お知らせ

- 受信ボックスのメール表示方法を「フォルダ表示」（169ページ）に設定している場合、Eメールは「受信フォルダ」または「フォルダ1」～「フォルダ20」のそれぞれに保存されます。「受信フォルダ」または「フォルダ1」～「フォルダ20」から転送する場合は、以下の手順で行います。

待受画面で ▶ ▶ 「受信フォルダ」または「フォルダ1」～「フォルダ20」を選択し、● 【選択】 ▶ メールを選択 ▶ ○ (F2) [メニュー] ▶ 「転送」を選択し、● 【選択】 ▶ 宛先と本文を編集 ▶ ○ (F1) 【送信】 または

- Eメール転送時は、以下のように転送されます。

- ・ 転送時は、件名の先頭に自動的に「Fw:」を付加します。
  - ・ 「Fw:」が付加された結果、件名の文字数が入力可能文字数を超過してしまう場合は、件名の末尾から削除されます。
  - ・ 別の件名に編集することもできます。
  - ・ すでに「Fw:」が付加されている受信メールの転送では、「Fw:」を付加しません。
- ・ 引用した件名/本文などに、WX300Kで表示できない文字が含まれている場合、スペースに置き換えて引用されることがあります。また、半角カナは全角カナに置き換えられます。
- ・ 受信メールの送信/受信者の情報 (To, From, Cc, Reply-To) は引用されません。

## メール本文のURL/Eメールアドレス/電話番号を直接利用する



WX300Kは、メール本文中の文字列を以下のように認識し、直接電話をかけたり、Eメールやライトメールを作成できます。認識可能な文字列は反転表示されます。

URLと認識する文字列	[http://] や [https://] で始まり、スペースや半角英数字以外の文字まで
Eメールアドレスと認識する文字列	[@] があり、その前後に1文字以上の半角英数字がある場合 [mailto: ] に続く半角英数字列1～64文字
電話番号と認識する文字列	[0で始まる10から32桁] の数字 [tel: ] に続く32桁までの数字、#・*などの記号

## ■ メール本文のURLを利用する

### 待受画面で

▶ 「受信メール一覧」 ▶ メールを選択し、 【選択】 ▶ 本文中のURLを選択し、  
 【選択】

以下の項目から選択します。

URLページ接続	選択したURLのWebページをOperaブラウザで表示します。
ブックマーク登録	▶ タイトルを入力し、 【登録】 選択したURLをブックマークに登録します。
アドレス帳登録	新規登録 新しくアドレス帳データを作成します（「アドレス帳の各項目を登録する」120ページ）。
	追加登録 ▶ アドレス帳を選択し、 【OK】 ▶  (F1) 【登録】 ▶ 「はい」を選択し、 【選択】 すでに登録されているアドレス帳データに、URLを追加登録します。

受信メール詳細画面  
(例：ライトメール)



### お知らせ

● 送信済メールや送信待メールの場合も同様に利用できます。

## ■ メール本文のEメールアドレスを利用する

### 待受画面で

▶ 「受信メール一覧」 ▶ メールを選択し、 【選択】 ▶  
 本文中のEメールアドレスを選択し、 【選択】

以下の項目から選択します。

アドレス帳登録	新規登録 新しくアドレス帳データを作成します（「アドレス帳の各項目を登録する」120ページ）。
	追加登録 ▶ アドレス帳を選択し、 【OK】 ▶  (F1) 【登録】 ▶ 「はい」を選択し、 【選択】 すでに登録されているアドレス帳データに、Eメールアドレスを追加登録します。
Eメール作成	選択したEメールアドレスを宛先としたEメールを作成します（「Eメールを作成して送信する」142ページ）。

受信メール詳細画面  
(例：ライトメール)



### お知らせ

● 送信済メールや送信待メールの場合も同様にご利用できます。

## ■ メール本文の電話番号を利用する

待受画面で

☑ ▶ ① ▶ 「受信メール一覧」 ▶ メールを選択し、⊙ 【選択】 ▶

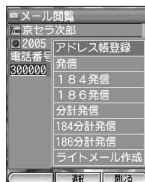
本文中の電話番号を選択し、⊙ 【選択】

以下の項目から選択します。

アドレス帳登録	新規登録	新しくアドレス帳データを作成します（「アドレス帳の各項目を登録する」120ページ）。
	追加登録	▶ アドレス帳を選択し、⊙ 【OK】 ▶ ⊙ (F1) 【登録】 ▶ 「はい」を選択し、⊙ 【選択】 すでに登録されているアドレス帳データに、電話番号を追加登録します。
発信	選択した電話番号に電話をかけます。	
184発信	選択した電話番号に184発信（自分の電話番号を通知しない）します。	
186発信	選択した電話番号に186発信（自分の電話番号を通知する）します。	
分計発信	選択した電話番号に料金分計サービスを利用して電話をかけます（「料金分計サービスについて」280ページ）。	
184分計発信	選択した電話番号に、184発信（自分の電話番号を通知しない）と料金分計サービスを利用して電話をかけます（「料金分計サービスについて」280ページ）。	
186分計発信	選択した電話番号に、186発信（自分の電話番号を通知する）と料金分計サービスを利用して電話をかけます（「料金分計サービスについて」280ページ）。	
ライトメール作成	選択した電話番号を宛先としたライトメールを作成します（「ライトメールを作成して送信する」148ページ）。	



- 送信済メールや送信待メールの場合も同様にご利用できます。
- 分計発信は、料金分計サービスにお申込みいただいている場合にのみご利用できます（「料金分計サービスについて」280ページ）。



## ● メールを管理する

Eメール ライトメール

### ● 受信メールの管理について

・受信したメールは「全受信メール」(152ページ)に保存されています。また、受信ボックスのメール表示方法を「フォルダ表示」(169ページ)に設定している場合、Eメールは「受信フォルダ」または「フォルダ1」～「フォルダ20」のそれぞれに保存されます。「全受信メール画面」、「受信ボックス画面」、「フォルダ内一覧画面」、および「受信メール詳細画面」のそれぞれの画面でメールの削除や編集などの管理ができます。「受信ボックス画面」、「フォルダ1」～「フォルダ20」については、フォルダ間のメールの移動なども行えます。

### ● 送信メールの管理

・送信したメールは「送信ボックス」に保存され、未送信のメールや送信に失敗したメールも一緒に保存されます。送信ボックスのメール表示方法を「フォルダ表示」(169ページ)に設定している場合、Eメール/ライトメールは以下のフォルダにそれぞれ保存されます。

- ・送信に成功したメール : 「送信済メール」
- ・送信に失敗したメール : 「送信待メール」
- ・送信せずに保存したメール : 「ドラフトメール」

・「送信ボックス画面」、「送信済メール」、「送信待メール」、「ドラフトメール」、および「送信メール詳細画面」のそれぞれでメールの削除や編集などの管理ができます。

## 受信ボックス画面のメニューを使う

Eメール ライトメール

受信ボックス(フォルダ表示)画面から、フォルダ名を変更したり、フォルダ内のメールを削除したりすることができます。

### 待受画面で

Ⓜ ⊞ ①② 「受信メール一覧」 ▶ フォルダを選択 ▶ Ⓞ (F2) [メニュー]

受信ボックス  
(フォルダ表示)  
画面のメニュー

以下の項目から選択します。

メール削除	▶ 暗証番号を入力 ▶ 「はい」を選択し、Ⓞ [選択] 選択したフォルダ内のメールをすべて削除します。	
受信ボックス表示	フォルダ表示	受信メールを各フォルダに分けて表示します。
	一覧表示	すべての受信メールを表示します。
フォルダ名変更	▶ フォルダ名を入力し、Ⓞ (F1) [戻る]	
お買い上げ時： 「フォルダ1」～ 「フォルダ20」	フォルダ名を変更します(全角7文字、半角14文字まで)。	



### お知らせ

● 「メール削除」で、削除対象に保護メール(「メールを保護する」166ページ)が含まれているときは、「保護メールも削除しますか?」と表示され、以下から選択します。

はい	保護メールを含めて削除します。
いいえ	保護メール以外を削除します。
削除を中止	削除操作を中止します。



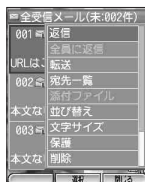
## 全受信メール画面のメニューを使う

受信ボックスのメール表示方法を「フォルダ表示」（169ページ）に設定している場合の「受信フォルダ」または「フォルダ1」～「フォルダ20」の一覧画面からも、同様の手順で行えます。

待受画面で

全受信メール画面のメニュー

▶ 「受信メール一覧」 ▶ **メールを選択** ▶ (F2) [メニュー]



以下の項目から選択します。

返信	差出人に返信します（「Eメールに返信する」155ページ、「ライトメールに返信する」155ページ）。	
全員に返信 <sup>*1</sup>	選択した受信メールの差出人およびTo、Ccに設定されているEメールアドレスに返信します（「Eメールに返信する」155ページ）。	
転送	選択した受信メールを転送します（「メールを転送する」157ページ）。	
宛先一覧	選択したメールの宛先の一覧を表示します（「送信／受信メールの宛先一覧画面のメニューを使う」156ページ）。	
添付ファイル <sup>*2</sup>	選択したEメールの添付ファイルを一覧表示します（「添付ファイルを表示／再生／保存する」154ページ）。	
並び替え	フォルダ内一覧画面の表示順番を変更します。	
	日付順	受付メールを日付の新しい順に並び替えます。
	送信者順	受信メールを送信者の宛先順に並び替えます。
未読／既読	受信メールを未読メール→既読メール（各々日付の新しい順に並び替え）の順に並び替えます。	
	未読／既読	受信メールを未読メール→既読メール（各々日付の新しい順に並び替え）の順に並び替えます。
文字サイズ	メールを表示する際の、文字の大きさを変更します（「メールの文字の大きさを設定する」168ページ）。	
保護	選択した受信メールを保護します（「メールを保護する」166ページ）。	
削除	受信メールを削除します（「メールを削除する」165ページ）。	
移動 <sup>*3</sup>	選択した受信メールを別のフォルダに移動します（「受信メールを別のフォルダに移動する」166ページ）。	
行数切替	メール一覧の表示を、「1行表示」または「3行表示」に切り替えます（「メール一覧の表示方法を切り替える」167ページ）。	
受信ボックス表示	フォルダ表示	受信メールを各フォルダに分けて表示します。
	一覧表示	すべての受信メールを表示します。

\*1：ライトメール選択時は表示されません。

\*2：メールに添付ファイルがない場合は、選択できません。

\*3：受信ボックス表示の設定が、フォルダ表示の場合に表示されます。

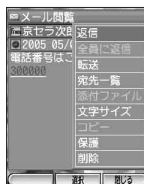
## 受信メール詳細画面のメニューを使う

受信ボックスのメール表示方法を「フォルダ表示」（169ページ）に設定している場合の「受信フォルダ」または「フォルダ1」～「フォルダ20」の詳細画面からも、同様の手順で行えます。

### 待受画面で

受信メール詳細画面のメニュー

▶ 「受信メール一覧」 ▶ メールを選択し、 【選択】 ▶ (F2) 【メニュー】



以下の項目から選択します。

返信	差出人に返信します（「Eメールに返信する」155ページ、「ライトメールに返信する」155ページ）。
全員に返信 <sup>*1</sup>	差出人と、受信メールでTo、Ccに設定されていたEメールアドレスに返信します（「Eメールに返信する」155ページ）。
転送	表示している受信メールを転送します（「メールを転送する」157ページ）。
宛先一覧	表示しているメールの宛先の一覧を表示します（「送信／受信メールの宛先一覧画面のメニューを使う」156ページ）。
添付ファイル <sup>*2</sup>	表示しているEメールの添付ファイルを一覧表示します（「添付ファイルを表示／再生／保存する」154ページ）。
文字サイズ	メールを表示する際の、文字の大きさを変更します（「メールの文字の大きさを設定する」168ページ）。
コピー <sup>*3</sup>	メールの本文と件名をコピーします（「メール本文／件名をコピーする」168ページ）。
保護	表示している受信メールを保護します（「メールを保護する」166ページ）。
削除	▶ 「はい」を選択し、 【選択】 表示している受信メールを削除します。

<sup>\*1</sup>：ライトメール選択時は表示されません。

<sup>\*2</sup>：メールに添付ファイルがない場合は、選択できません。

<sup>\*3</sup>：本文または件名を選択している場合のみ表示されます。

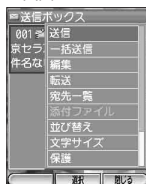
## 送信ボックス画面のメニューを使う

送信ボックスのメール表示方法を「フォルダ表示」（169ページ）に設定している場合の「送信済メール」、「送信待メール」、および「ドラフトメール」の一覧画面からも、同様の手順で行えます。

待受画面で

▶ 「送信メール一覧」 ▶ メールを選択 ▶ (F2) [メニュー]

送信ボックス画面のメニュー



以下の項目から選択します。

送信	選択されているメールを送信します。	
一括送信 <sup>*1</sup>	すべてのメールを送信します。	
編集	選択したメールを編集します（「保存したEメールを編集して送信する」148ページ、「保存したライトメールを編集して送信する」151ページ）。	
転送	選択した受信メールを転送します（「メールを転送する」157ページ）。	
宛先一覧	選択したEメールの宛先の一覧を表示します（「送信／受信メールの宛先一覧画面のメニューを使う」156ページ）。	
添付ファイル <sup>*2</sup>	選択したEメールの添付ファイルを一覧表示します（「添付ファイルを表示／再生／保存する」154ページ）。	
並び替え	送信済／待メール画面の表示順番を変更します。	
	日付順	送信メールを日付の新しい順に並び替えます。
	宛先順	送信メールを宛先順に並び替えます。
文字サイズ	メールを表示する際の、文字の大きさを変更します（「メールの文字の大きさを設定する」168ページ）。	
保護	選択したメールを保護します（「メールを保護する」166ページ）。	
削除	送信済／待メールを削除します（「メールを削除する」165ページ）。	
行数切替	メール一覧の表示を、「1行表示」または「3行表示」に切り替えます（「メール一覧の表示方法を切り替える」167ページ）。	
送信ボックス表示	フォルダ表示	送信メールを各フォルダに分けて表示します。
	一覧表示	すべての送信メールを表示します。

<sup>\*1</sup>：送信待Eメールのみ有効です。

<sup>\*2</sup>：メールに添付ファイルがない場合は、選択できません。

## 送信メール詳細画面のメニューを使う

送信ボックスのメール表示方法を「フォルダ表示」（169ページ）に設定している場合の「送信済メール」、「送信待メール」、および「ドラフトメール」の詳細画面からも、同様の手順で行えます。

### 待受画面で

▶ 「送信メール一覧」 ▶ メールを選択し、 【選択】 ▶ (F2) 【メニュー】

送信メール  
詳細画面のメニュー



以下の項目から選択します。

送信	表示されているメールを送信します。
編集	表示しているメールを編集します（「保存したEメールを編集して送信する」148ページ、「保存したライトメールを編集して送信する」151ページ）。
転送	選択した受信メールを転送します（「メールを転送する」157ページ）。
宛先一覧	表示しているEメールの宛先の一覧を表示します（「送信／受信メールの宛先一覧画面のメニューを使う」156ページ）。
添付ファイル*1	表示しているEメールの添付ファイルを一覧表示します（「添付ファイルを表示／再生／保存する」154ページ）。
文字サイズ	メールを表示する際の、文字の大きさを変更します（「メールの文字の大きさを設定する」168ページ）。
コピー*2	メールの本文と件名をコピーします（「メール本文／件名をコピーする」168ページ）。
保護	表示している送信メールを保護します（「メールを保護する」166ページ）。
削除	▶ 「はい」を選択し、 【選択】 表示しているメールを削除します。

\*1：メールに添付ファイルがない場合は、選択できません。

\*2：本文または件名を選択している場合のみ表示されます。

例：フォルダ内一覧画面からメールを削除する

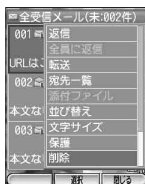
待受画面で

① [受信メール一覧] または ② [送信メール一覧] ▶ メールを選択 ▶

③ (F2) [メニュー] ▶ [削除] を選択し、④ [選択]

以下の項目から選択します。

1件削除	▶ 「はい」を選択し、④ [選択] 選択したメールを削除します。
選択削除	▶ 暗証番号を入力 ▶ 削除するメールを選択し、④ [選択] ▶ メールを複数選択後、③ (F1) [削除] ▶ 「はい」を選択し、④ [選択] 複数のメールを選択して削除します。選択したメールは、背景の色が変わります。選択したメールを解除するには、すでに選択したメールを選択して④ [解除] を押します。
全件削除	▶ 暗証番号を入力 ▶ 「はい」を選択し、④ [選択] フォルダ内のすべてのメールを削除します。



お知らせ

● 「選択削除」 / 「全件削除」で、削除対象に保護メール（「メールを保護する」166ページ）が含まれているときは、「保護メールも削除しますか？」と表示され、以下の項目から選択します。

はい	保護メールを含めて削除します。
いいえ	保護メール以外を削除します。
削除を中止	削除操作を中止します。

例：メールをまとめて削除する

待受画面で

1 ① [メール設定] ▶ ② [メール初期化]

以下の項目から選択します。

① 受信メールボックス初期化	すべての受信メールを削除します。
② 送信済メールボックス初期化	すべての送信済メールを削除します。
③ 送信待メールボックス初期化	すべての送信待メールを削除します。
④ ドラフトメールボックス初期化	すべてのドラフトメールを削除します。
⑤ 全メールボックス初期化	すべてのメールを削除します。またメール容量配分設定もクリアされます。
⑥ 送信履歴初期化	すべての送信履歴を削除します。

2 暗証番号を入力 ▶ 「はい」を選択し、④ [選択]

ご注意

● 一度削除したメールは復元できません。まとめて消去する場合はとくにご注意ください。

## メールの使いかた



- 削除対象に保護メール（「メールを保護する」同ページ参照）が含まれているときは、「保護メールも削除しますか？」と表示され、以下の項目から選択します。

はい	保護メールを含めて削除します。
いいえ	保護メール以外を削除します。
削除を中止	削除操作を中止します。

- メール削除は、以下の手順でも行えます。

受信メール詳細画面の場合	▶  (F2) 【メニュー】 ▶ 「削除」を選択し、 【選択】 ▶
送信ボックス画面または送信済／待メール／ドRAFTメール詳細画面の場合	「はい」を選択し、 【選択】

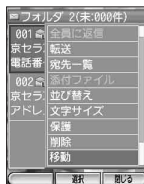
### 受信メールを別のフォルダに移動する



受信ボックスのメール表示方法が「フォルダ表示」（169ページ）に設定されている場合、受信したメールを別のフォルダに移動することができます。

#### 待受画面で

- ① ▶ ① 「受信メール一覧」 ▶ メールを選択 ▶ (F2) 【メニュー】 ▶ 「移動」を選択し、 【選択】 ▶ 移動先のフォルダを選択し、 【選択】



- メールフォルダ管理ができるのは受信メールのみ有効です。

### メールを保護する



送／受信したメールが、WX300Kの最大件数または最大容量を超えると、送／受信日時の古い既読メールから自動的に削除されます。大事なメールが自動削除されたり、誤って削除しないようにするためには、保護を設定します。

例：フォルダ内一覧画面でメールを保護する

#### 待受画面で

- ① ▶ ① 「受信メール一覧」または ② 「送信メール一覧」 ▶ メールを選択 ▶
- ③ (F2) 【メニュー】 ▶ 「保護」を選択し、 【選択】



- 保護設定の最大件数または最大容量は、450件または450Kバイトです。ただし、メール容量配分設定（「メール設定」169ページ）で変更した場合は、最大件数または最大容量の半分となります。
- 保護の解除は、以下の手順で行います。  
待受画面で ▶ ① 「受信メール一覧」または ② 「送信メール一覧」 ▶ 保護を解除したいメールを選択 ▶ (F2) 【メニュー】 ▶ 「保護」を選択し 【選択】
- 保護されたメールには、「」が表示されます。

## メール一覧の表示方法を切り替える

E メール

71 メール

メール一覧の表示を、1行表示または3行表示に切り替えます。切り替えた表示方法は次回起動時にも継続されます。



お買い上げ時：  
「3行」

例：フォルダ内一覧画面の表示方法を切り替える

待受画面で

☑ ▶ ① 「受信メール一覧」または ② 「送信メール一覧」 ▶ ○ (F2) [メニュー] ▶ 「行数切替」を選択し、  
⊙ [選択]

以下の項目から選択します。

1行表示	3行表示
	

⊙を押すことに、受信・送信相手/件名/本文を切り替えることができます。

● メールを管理する

## メールの文字の大きさを設定する

メールを表示する際の、文字の大きさを設定します。受信/送信のいずれでも設定できますが、設定は共通のものとなります。設定した文字の大きさは次回以降も継続されます。

お買い上げ時：  
「小」

例：全受信メール画面/受信メール詳細画面で表示文字の大きさを切り替える

全受信メール画面/受信メール詳細画面で

○ (F2) [メニュー] ▶ 「文字サイズ」を選択し、● 【選択】

以下の項目から選択します。

最小	小	中	大
1行あたり全角18文字、 半角36文字を表示します。	1行あたり全角11文字、 半角23文字を表示します。	1行あたり全角9文字、 半角16文字を表示します。	1行あたり全角6文字、 半角12文字を表示します。

・半角文字の場合、表示させたい文字によって表示できる文字数が異なる場合があります。

お知らせ

● 文字の大きさを設定するには、以下の手順でも行えます。

送信ボックス画面または送信済/送信待/ ドラフトメール一覧/詳細画面の場合	▶ ○ (F2) [メニュー] ▶ 「文字サイズ」を選択し、● 【選択】 ▶ 「最小」、「小」、「中」、または「大」を選択し、● 【選択】
メール設定画面の場合	▶ 待受画面で  ▶ 6.  「メール設定」 ▶ 5.  「文字サイズ」 ▶ 「最小」、「小」、「中」、または「大」を選択し、● 【選択】

● メール作成時はメニューなどと同じ文字サイズになります。

## メール本文/件名をコピーする

メールの本文から、範囲を指定して文章をコピーします。全角、半角共に128文字までコピーできます。

例：受信メール詳細画面で本文をコピーする

待受画面で

- ① ▶ 1. 「受信メール一覧」 ▶ メールを選択し、● 【選択】 ▶ 本文を選択 ▶
- (F2) [メニュー] ▶ 「コピー」を選択し、● 【選択】 ▶ コピー範囲の始点を選択し、
- 【始点】 ▶ 終点を選択し、● 【終点】

お知らせ

● 本文を選択したときは本文のコピーに、件名を選択したときは件名のコピーになります。



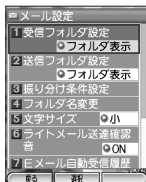


メール機能に関する各種設定を行います。

待受画面で

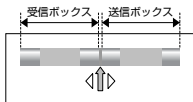
✉ ▶ 6. 設定画面 ▶ **「メール設定」**

メール設定画面



以下の項目から選択します。

① 受信フォルダ設定	受信ボックスのメール表示方法を設定します。	
	フォルダ表示	受信メールを各フォルダに分けて表示します。
	一覧表示	すべての受信メールを表示します。
② 送信フォルダ設定	送信ボックスのメール表示方法を設定します。	
	フォルダ表示	送信メールを各フォルダに分けて表示します。
	一覧表示	すべての送信メールを表示します。
③ 振り分け条件設定	自動的に受信メールをフォルダに振り分けるように設定します（「受信メールを自動的にフォルダに振り分ける」175ページ）。	
④ フォルダ名変更	▶ 変更するフォルダを選択し、フォルダ名を入力 ▶ <b>⊙ (F1) [戻る]</b> 受信ボックスのフォルダ名を変更します。	
⑤ 文字サイズ	メール本文の文字の大きさを設定します（「メールの文字の大きさを設定する」168ページ）。	
⑥ ライトメール送達確認音	ライトメール送信時の確認音を設定します（「ライトメール送信時の確認音を設定する」175ページ）。	
⑦ Eメール自動受信履歴	メールを自動受信した履歴を一覧表示します。	
⑧ メール初期化	メールや送信履歴をまとめて削除します（「メールを削除する」165ページ）。	
⑨ Eメール保存容量	▶ <b>⊙</b> で配分を設定し、 <b>⊙</b> 【選択】	
	受信ボックスと送信ボックスの保存容量を配分します。保存容量の配分によっては、メールの送受信ができない場合があります。ご利用に合わせて配分を変更してください。	
⑩ アカウント設定	署名、差出人名など、アカウントごとの各種設定をします。また、追加アカウントもここから登録します（「アカウントごとの各種設定をする」170ページ）。	
⑪ ダイヤルアップ設定	ダイヤルアップ設定の詳細については、「ダイヤルアップを設定／編集する」（202ページ）の手順2、3をご参照ください。	
⑫ 接続モード切替	接続モード切替の詳細については、「インターネット接続アカウントを切り替える」（204ページ）の表をご参照ください。	



アカウントごとの各種設定をする

Eメール

WX300Kに登録されているメールアカウントごとに、差出人名や署名などの各種設定をします。オンラインサインアップで取得したウィルコムが提供するEメールのアカウント(△△.pdx.ne.jp)の場合は、Eメールの自動受信に関する設定もここでできます。一般プロバイダのアカウントを使用する場合は、追加アカウントとして手動でEメールアドレスなどの情報を登録しておく必要があります(「ダイヤルアップを設定/編集する」202ページ)。

メール設定画面で

⑦ [アカウント設定] ▶ [アカウント1] ~ [アカウント3] を選択し、⑧ [選択]

アカウント選択画面では、オンラインサインアップで取得したウィルコムのアカウント(△△.pdx.ne.jp)「アカウント3」を含め、3つのアカウント項目が表示されます。

以下の項目から選択します。

アカウント選択画面



↓  
メールアカウント設定画面



受信行数制限設定	受信する一通あたりのメールデータ量を行数で指定します(「受信する行数を制限する」171ページ)。		
受信行数	受信する行数を設定します。入力できる文字数は0~999までです。		
Eメール削除設定	Eメール受信時にサーバーのメールを削除するかどうかの設定をします(「メール受信時にサーバーのEメールを削除する」171ページ)。		
返信先アドレス	お客様からの送信メールを、受信した相手先から返信するときのEメールアドレスを設定します(「返信先アドレスを設定する」172ページ)。		
メッセージ引用	メール返信時に受信するメールの本文を自動的に引用して挿入するかどうかの設定をします(「返信時の受信メールの引用を設定する」172ページ)。		
署名設定	署名を設定します(「署名を設定する」173ページ)。		
差出人名称	メール送信時に相手先で表示されるお客様の名前を設定します(「差出人名を設定する」173ページ)。		
Eメール自動受信機能	ウィルコムが提供するEメールのアカウント(△△.pdx.ne.jp)で、Eメール自動受信通知を受信したときの動作を設定します(「Eメール自動受信を設定する」173ページ)。		
メールサーバー設定 <sup>*1</sup>	センタ名称設定	メールサーバーの名称を入力します。入力できる文字数は半角16文字までです。	
	メールアドレス	自分のメールアドレスを入力します。入力できる文字数は半角64文字までです。	
	送信サーバー(SMTP)	SMTPサーバーのアドレスを入力します。入力できる文字数は半角64文字までです。	
	受信サーバー(POP)	POPサーバーのアドレスを入力します。入力できる文字数は半角64文字までです。	
	アカウント名	メールサーバーで利用者を識別するために使用するアカウント名(ユーザ名)を入力します。入力できる文字数は半角64文字までです。	
	パスワード	メールサーバーにアクセスするときに必要なパスワードを入力します。入力できる文字数は半角128文字までです。	
	サーバー詳細設定 <sup>*2</sup>	SMTPポート番号	SMTPサーバーのポート番号を入力します。入力できるポート番号は0~65535までです。
		POPポート番号	POPサーバーのポート番号を入力します。入力できるポート番号は0~65535までです。
		SMTP認証	送信メールサーバーに接続する際、SMTP認証を行うかどうかの設定をします。
		POPbeforeSMTP	メール送信時に、サーバー側でPOPbeforeSMTPによる認証が用いられる場合「ON」に設定します。
POPbeforeSMTP待ち時間		POPbeforeSMTPを「ON」に設定したときに、POPサーバーとの接続後、SMTPサーバーに接続するまでの秒数を入力します。設定できる待ち時間は0~60秒までです。	
	認証方式設定	POP認証時にAPOP認証を行うかどうかの設定をします。	

\*1: 「アカウント3」の場合は、設定を変更することができません。

\*2: 「サーバー詳細設定」の詳細については、プロバイダにお問い合わせください。

## ■ 受信する行数を制限する

メールアカウント設定画面で

お買い上げ時：  
受信行数：「600」  
受信行数制限設定：「OFF」

### 1 「受信行数制限設定」を選択し、【選択】

以下の項目から選択します。

ON	受信する行数を制限します。
OFF	受信する行数を制限しません。

### 2 (F1) [登録] を押す

 お知らせ

- 本文の長いメール、サイズの大きい画像やメロディなどが添付されたデータ量の大きいメールの内容をすべて受信する必要のないときは、受信桁数を少なく制限することで通信料を低くおさえることができます。設定した桁数の制限を超えるデータは、削除された状態で受信します。このため、メールに画像やメロディなどのファイルが添付されているときは、添付ファイルの表示/再生ができなかったり、添付ファイルの一部が本文に文字化けした状態で表示されることがあります。

## ■ メール受信時にサーバーのEメールを削除する

WX300KでEメールを受信したときに、サーバーに保存された受信メールを自動的に削除するかどうかを設定します。

お買い上げ時：  
「削除」

メールアカウント設定画面で

### 1 「Eメール削除設定」を選択し、【選択】

以下の項目から選択します。

保存	Eメールを受信後も、サーバーに保存された受信メールを保持します。
削除	Eメール受信時に、サーバーに保存された受信メールを削除します。

### 2 (F1) [登録] を押す

 ご注意

- 「削除」に設定した場合、WX300Kで受信しきれないデータ量のメールを受信したときも、メールサーバー上のメールは削除され、受信し直すことができません。

## ■ 返信先アドレスを設定する


メールを送った相手から返信してもらうときのEメールアドレスを設定します。他のメールアドレスに返信してほしい場合や、パソコン宛てに返信してほしい場合などに便利です。

お買い上げ時：  
「OFF」

### メールアカウント設定画面で

#### 1 「返信先アドレス」を選択し、【選択】

以下の項目から選択します。

ON	 <b>返信先アドレスを入力</b> 返信先アドレスを設定します。
OFF	返信先アドレスを設定しません。送信したメールアカウントに返信されます。

#### 2 (F1)【登録】を押す



- 入力できる文字数は半角64文字までです。
- 複数のEメールアドレスを入力するときは、Eメールアドレスを「,」(カンマ)で区切ります。
- 一度入力した返信先アドレスは、設定を「OFF」にしても保存されています。再度「ON」にすることでそのままご利用できます。

## ■ 返信時の受信メールの引用を設定する

受信メールへ返信するときに、受信メールの本文を返信メールの本文に自動的に引用するかどうかを設定します。引用方法も引用符(>)を付けるかどうかを選択できます。

お買い上げ時：  
「>なしで引用する」

### メールアカウント設定画面で

#### 1 「メッセージ引用」を選択し、【選択】

以下の項目から選択します。

>付で引用する	受信メールの本文を引用符(>)付きで引用します。
>なしで引用する	受信メールの本文を引用符(>)なしで引用します。
引用しない	受信メールの本文を引用しません。

#### 2 (F1)【登録】を押す



- 引用した本文は、返信メール本文の文字数にカウントされます。

## ■ 署名を設定する




メール本文に挿入する署名を設定します。


お買い上げ時：  
「付加しない」

メールアドレス設定画面で

1 「署名設定」を選択し、 「選択」 ▶ 「署名」を選択し、 「選択」

以下の項目から選択します。

付加する	▶   署名を入力 送信メールに署名を付加します。
付加しない	▶  署名を付加しません。

2  (F1) [登録] を押す

 お知らせ

- 入力できる文字数は全角128文字、半角256文字までです。
- メール作成時に反映される署名は、接続先モード（174ページ）に設定されている接続モードの送信メールアドレス（174ページ）の署名です。
- 返信メール作成時に反映される署名は、「From」に設定されている接続先モード（174ページ）の送信メールアドレスの署名です。
- 一度入力した署名は、設定を「付加しない」にしても保存されています。再度「付加する」にすることでそのままご使用できます。
- 署名は送信メール本文の文字数にカウントされます。

## ■ 差出人名を設定する

メール送信時に相手先に表示されるお客様の名前を設定します。入力できる文字数は全角16文字、半角32文字までです。半角カタカナは使用できません。

お買い上げ時：  
「未設定」

メールアドレス設定画面で

「差出人名称」を選択 ▶ 差出人名称を入力し、 (F1) [登録]

## ■ Eメール自動受信を設定する



新しいEメールがウィルコムメールサーバーに届いたときに、Eメールを自動で受信するかどうかを設定します。本機能は、オンラインサインアップで取得したウィルコムEメールアドレスでのみ利用できる機能です。あらかじめオンラインサインアップを行ってからEメール自動受信の設定を行ってください。

お買い上げ時：  
「ON」「1回」

メールアドレス設定画面で

「Eメール自動受信機能」を選択し、 「選択」

以下の項目から選択します。

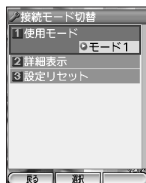
Eメール自動受信機能	▶ 「ON」または「OFF」を選択し、  【選択】 新しいEメールがウィルコムメールサーバーに届いたときに、Eメールを自動で受信するかどうかを選択します（オンラインサインアップで「Eメール自動受信」の設定をした場合のみ）。
自動受信回数設定*	▶ 「1回」、「2回」、または「3回」を選択し、  【選択】 Eメール自動受信時のサーバーへの問い合わせ回数を設定します。

\*：「Eメール自動受信機能」を「ON」に設定したときのみ表示されます。

## 接続先をモード別に設定する

メール設定画面で

接続モード設定画面



1 **【接続モード切替】** ▶ 2 **【詳細表示】** ▶ 1 **【1】** ~ 3 **【3】** (接続先モードを選択)

以下の項目から選択します。

1 <b>【接続モード名称】</b>	モードの名称を入力します。
2 <b>【Opera(WEB)接続先】</b>	▶ 接続先を選択し、 <b>【選択】</b> Operaブラウザの接続先を選択します。
3 <b>【メール接続先】</b>	▶ 接続先を選択し、 <b>【選択】</b> メールの接続先を選択します。
4 <b>【送信メールアカウント】</b>	メールを送信するアカウントを選択します (「送信アカウントを選択する」 同ページ参照)。
5 <b>【受信メールアカウント】</b>	メールを受信するアカウントを選択します (「受信アカウントを選択する」 175ページ)。

2 **【(F2)【登録】を押す】**



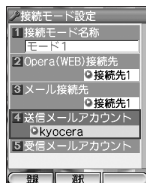
●モード (接続先1~3) を切り替えるには、以下の手順で行います。

メール設定画面で **【#】** **【接続設定】** ▶ 1 **【1】** **【使用モード】** ▶ モード (接続先1~3) を選択し、**【選択】**

### 送信アカウントを選択する

送信時に利用するアカウントを選択します。

お買い上げ時：  
「アカウント3」



メール設定画面で

**【#】** **【接続モード切替】** ▶ 2 **【詳細設定】** ▶ 1 **【1】** ~ 3 **【3】** (接続先モードを選択) ▶

4 **【送信メールアカウント】**

以下の項目から選択します。

1 <b>【メールアカウント1*】</b>	アカウント1に登録されているアカウントで送信します。
2 <b>【メールアカウント2*】</b>	アカウント2に登録されているアカウントで送信します。
3 <b>【メールアカウント3*】</b>	アカウント3に登録されているアカウントで送信します。

\* : アカウント名は「アカウント設定」で登録した名称で表示、または登録したものだけが表示されます。



●追加アカウントを登録していない場合は、設定の必要はありません。



## 振り分け条件を引用入力する（自動振分条件一覧画面のメニュー）

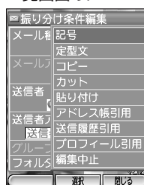
### 自動振分条件一覧画面で

「送信者アドレス」を選択 ▶ (F2) 【メニュー】

以下の項目から選択します。

記号	▶ 半角記号を入力し、 【確定】
定型文	▶ 定型文を入力し、 【選択】
コピー	Eメールアドレスをコピーします。
カット	Eメールアドレスをカットします。
貼り付け	コピーまたはカットしたEメールアドレスを貼り付けます。
アドレス帳引用	▶ アドレス帳からEメールアドレスまたは電話番号を選択し、 【選択】
送信履歴引用	▶ 送信履歴からEメールアドレスまたは電話番号を選択し、 【選択】
プロフィール引用	▶ Eメールアドレスを選択し、 【選択】
編集中止	編集を中止します。

### 自動振分条件一覧画面のメニュー



● 入力できる文字数は半角64文字までです。

## 振り分け条件一覧画面のメニューを使う

### メール設定画面で

3 「振り分け条件設定」 ▶ 振り分け条件を選択 ▶ (F2) 【メニュー】

以下の項目から選択します。

新規作成	受信したメールを指定したフォルダに自動的に振り分けて保存します（「受信メールを自動的にフォルダに振り分ける」175ページ）。
編集	▶ 編集したい項目を選択 ▶ 編集し、 (F1) 【登録】 ▶ 「はい」を選択し、 【選択】 登録した振り分け条件設定を編集します。
一件削除	▶ 「はい」を選択し、 【選択】 振り分け条件設定を削除します。
選択削除	▶ 暗証番号を入力 ▶ 削除するEメールアドレス／電話番号を選択し、 【選択】 ▶ 複数選択後、 (F1) 【削除】 ▶ 「はい」を選択し、 【選択】 複数のEメールアドレス／電話番号を選択して削除します。選択したEメールアドレス／電話番号は、背景の色が変わります。選択したEメールアドレス／電話番号を解除するには、すでに選択したEメールアドレス／電話番号を選択して 【解除】を押します。
全削除	▶ 暗証番号を入力 ▶ 「はい」を選択し、 【選択】 すべての振り分け条件設定を削除します。
優先順位変更	▶ 変更したい順位の振り分け条件を選択し、 【選択】 振り分け条件の優先順位を変更します。上記手順で選択した振り分け条件の1つ上位に設定されます。



# ● インターネットの使いかた

インターネット機能について.....	178
セキュリティ通信について.....	178
端末情報の通知.....	179
Operaブラウザについて.....	179
表示モード.....	179
Operaブラウザの基本操作.....	180
Operaブラウザの起動と終了.....	180
Operaブラウザを起動し、CLUB AIR-EDGEにアクセスする（公式サイト）.....	180
Operaブラウザを終了する.....	180
Operaブラウザでの主なキー操作について.....	181
Operaブラウザの表示モードを切り替える.....	182
ダウンロードのしかた.....	182
表示中のWebページをブックマークに登録する.....	184
表示中のWebページを「ホーム」に登録する.....	184
Webページ上の情報を利用する.....	185
Opera(WEB)メニューについて.....	186
「ホーム」に登録したWebページにアクセスする（ホーム）.....	187
ブックマークに登録したWebページにアクセスする（ブックマーク一覧）.....	187
ブックマークを利用して素早くアクセスする.....	188
前回最後に表示したWebページにアクセスする（ラストページ）.....	188
URLを入力または入力履歴からアクセスする（URL入力）.....	189
Webページ表示中の操作.....	190
Webページから保存する（保存）.....	191
保存ページから表示する（保存ページ）.....	192
保存ページを表示する.....	192
Webページから移動する（移動）.....	193
Webページを最新の状態に更新する（更新）.....	194
Webページの先頭／最後を表示する.....	194
表示フレームを選択する.....	194
ブックマーク一覧について.....	195
ブックマーク一覧を表示する.....	195
ブックマークの詳細を表示する.....	195
ブックマークメニューで管理する（ブックマーク選択時のメニュー）.....	196
ブックマークを編集する.....	197
フォルダ名を変更する.....	197
ブックマークを削除する.....	198
ブックマークを1件ずつ削除する（1件削除）.....	198
ブックマークを複数選択して削除する（選択削除）.....	198
フォルダ内の全件を削除する（フォルダ内削除）.....	198
ブックマークをすべて削除する（全件削除）.....	198
Operaブラウザの環境設定.....	199
Opera(WEB)メニューからの環境設定（設定）.....	199
インターネット表示中の環境設定（設定）.....	200
ブラウザの設定をリセットする.....	201
ダイヤルアップを設定する.....	202
ダイヤルアップを設定／編集する（機能番号68）.....	202
インターネット接続アカウントを切り替える（接続モード切替）（機能番号69）.....	204

## ● インターネット機能について

WX300Kに搭載されたOperaブラウザ（「Operaブラウザについて」179ページ）によって、簡単な操作でWebページをお楽しみいただけます。

- Webページから画像やメロディをダウンロードし、WX300Kで壁紙や着信メロディとして利用することができます（「ダウンロードのしかた」182ページ）。
- ウィルコム の「CLUB AIR-EDGE」にアクセスすることで、ウィルコム の電話向けに作られたさまざまなコンテンツをお楽しみいただけます（「Operaブラウザを起動し、CLUB AIR-EDGEにアクセスする」180ページ）。
- 「Opera(WEB)制限」が設定されている場合は、ご利用の際に暗証番号を入力する必要があります。
- 一般プロバイダを利用したインターネットへのアクセスも可能です（「ダイヤルアップを設定する」202ページ）。

### 🔍 ご注意

- インターネットの説明ページで本書に掲載されている画面のレイアウトや表示内容は、ひとつの例であり、変更される場合があります。
- Webページには、一部の方に不快感を与えるものも存在します。ご利用に関してはご注意ください。よろしくお願いいたします。
- Webページの表示は、電波状況やインターネットの混雑によって時間がかかる場合があります。
- パケット方式でインターネットに接続すると、お客様が加入するコースによってはパケットを送受信するたびに料金が発生しますのでご注意ください。料金について詳しくはウィルコムサービスセンターにお問合せください。
- インターネット上のコンテンツサービスやWebページの記事、画像、メロディデータなどは、一般的に著作権法で保護されています。これらの内容は個人として楽しむ以外に著作権者の許可を得ずそのまま、または改変して販売したり、再配布することはできません。
- PIAFS方式でインターネットに接続すると、接続中は通信料金が発生しますのでご注意ください。料金について詳しくはウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。
- JAVAアプレットやFLASHなどのインストールを必要とするアプリケーションについては、対応していません。

### 🔊 お知らせ

- OperaブラウザでWebページを表示するときサーバーから受信した情報は、WX300Kに一時的に保存されます。これをキャッシュといいます。
  - ・ OperaブラウザからWebページにアクセスするとピクト「🔒」が点滅します。Operaブラウザが起動している間（キャッシュから表示したり、「保存ページ」（192ページ）を表示する場合を含む）は、「🔒」が表示されます。

## セキュリティ通信について

Operaブラウザでは特別な操作なしで、SSL (Secure Sockets Layer) やTLS (Transport Layer Security) に対応したWebページを表示することができます。SSLやTLSに対応したページを利用すると、例えば、お買い物をするとき、お客様の住所や電話番号、クレジットカード番号などの大事な個人情報をWX300Kから送信しても、第三者に見られたり、盗まれたりしないよう保護されます。

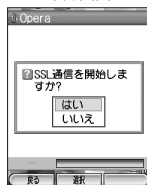
### 🔍 ご注意

- 当社は、お客様に対しSSL/TLS対応ページの安全性に関して何ら保証を行うものではありません。お客様ご自身の責任と判断により、SSL/TLS対応ページをご利用ください。

### 🔊 お知らせ

- Operaブラウザは、URLが「https://～」で始まるWebページにアクセスしたときに、SSL/TLS対応ページと判断し、SSL/TLSの認証が完了すると、画面上に「🔒」を表示してお知らせします。また、SSL/TLS対応ページから通常のページへ移動する場合や、逆に通常のページからSSL/TLS対応ページへ移動する場合、SSL/TLS通信を開始/終了するかどうかの確認画面が表示されます。
- SSL/TLSページにアクセスするために必要なCA証明書について、Opera(WEB)メニューから確認したり、有効/無効を設定することができます（「Operaブラウザの環境設定」199ページ）。

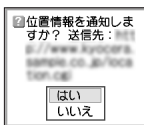
### SSL通信開始 確認画面



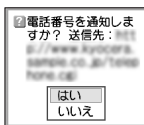
## ■ 端末情報の通知

Webページによってはサービスの提供のために、お客様の位置情報、電話番号、メールアドレスの通知を要求する場合があります。このような場合には、情報を送信するかどうかの確認画面を表示して注意を促します。

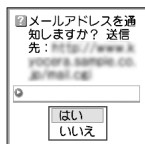
位置情報通知画面



電話番号通知画面



メールアドレス通知画面



### 🔔 ご注意

- インターネット上で端末情報を送信すると、場合によっては第三者に知られてしまう可能性があります。あらかじめご了承ください。
- インターネット上には、上記の場合のほかにも、お客様のメールアドレスなどを入力できる掲示板などが存在しますが、個人情報の取扱いには十分にご注意ください。
- 確認画面は実際と異なる場合があります。

## ● Operaブラウザについて

Operaブラウザは、携帯電話やウィルコム等の電話向けに作成されたWebページのほか、パソコン向けに作成されたWebページも表示することができます。

### 🔔 ご注意

- パソコン向けのWebページでは、一部表示できない場合があります。また、インターネット上のCGI（掲示板など、ブラウザからの要求でサーバーに保存されたプログラムを実行するしくみ）では、一部利用できない場合があります。
- お客様のご利用環境や個別の情報サービスの内容まで保証致しかねますので、Webページの検証や動作保証は致しません。お客様の責任においてご利用ください。

## 表示モード

Operaブラウザには、多くのWebページを快適に表示するため、以下の3種類の表示モードが用意されています。

- ・「ケータイモード」
- ・「フルスクリーンモード」
- ・「スモールスクリーンモード」

各表示モードによってWebページの表示のしかたが異なります。お好みの表示モードに切り替えてご利用ください。

どの表示モードで表示しているかを画面上部のピクトの種類でお知らせします。表示モードの切り替えはWebページ表示中に行うことができます（「Operaブラウザの表示モードを切り替える」182ページ）。

### ケータイモード

画面上部に「📶」または「📶」が表示されません。



WebページをWX300Kの画面サイズに合わせ、Webページの内容をすべて、幅240ドットに固定して表示します（画像も最大240ドット幅に縮小されます）。ケータイモードでは、📶を押すだけでWebページをスクロールして表示できます。またこのモードの場合、フレームを表示しません。

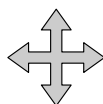


スクロール方向



**フルスクリーンモード** 画面上部に「」が表示されます。


Webページを元のままの大きさで表示します。このモードではとを使い上下左右にページをスクロールして表示できます。フレームで分割されたページもそのまま表示できますが、ページ上のほとんどの要素がメインディスプレイ表示幅を超えて表示されるため、全体を把握できない場合があります。



スクロール方向

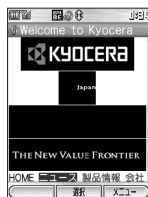


**スモールスクリーンモード** 画面上部に「」が表示されます。

WebページをWX300Kの画面サイズに合わせ、Webページの内容をすべて、幅240ドットにフォーマットし直して表示します（画像も最大240ドット幅に縮小されます）。このモードでは、を押すだけでWebページをスクロールして表示できます。Webページがフレームに分けられている場合は、「フレーム切替」で切り替えて表示します（「Webページから移動する」193ページ）。



スクロール方向



 **ご注意**

●表示モードを変更すると、Webページによっては、表示できない場合があります。

## ● Operaブラウザの基本操作

### Operaブラウザの起動と終了

#### ■ Operaブラウザを起動し、CLUB AIR-EDGEにアクセスする（公式サイト）

Operaブラウザを起動し、ウィルコムが提供するポータルサイト「CLUB AIR-EDGE」にアクセスします。なお、URLを入力してWebページを表示させる方法については、「URLを入力または入力履歴からアクセスする」（189ページ）をご参照ください。

**待受画面で**




 ▶  「公式サイト」

 **ご注意**

●「CLUB AIR-EDGE」にアクセスできない場合は、Opera接続先を「CLUB AIR-EDGE」に設定し、ユーザーエージェントを「WILLCOM」に設定してください（「インターネット表示中の環境設定」200ページ）。

 **お知らせ**

●Webページ表示中のCLUB AIR-EDGEへのアクセスは、以下の手順で行います（ユーザーエージェントの設定にご注意ください）。

Webページ表示中に  (F2) 【メニュー】 ▶  (8.5) 「移動」 ▶  「公式サイト」


#### ■ Operaブラウザを終了する

##### Webページ表示中に

 を2回押す

Operaブラウザを終了します。













 **お知らせ**

●  を1回押すと、表示画面はそのままオフラインになります。

●インターネット利用中に新着メールがあった場合は、待受画面に戻ったときにお知らせします。

## Operaブラウザでの主なキー操作について

Operaブラウザを使ってインターネットにアクセスしたときのキー操作は、以下のようになります。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーカスを移動します。</li> <li>・表示を上下に移動します。</li> </ul>	
	「ケータイモード」および「スモールスクリーンモード」の場合	「戻る」の役割をします。
	「フルスクリーンモード」の場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーカスを移動します。</li> <li>・表示を左に移動します。</li> </ul>
	「ケータイモード」および「スモールスクリーンモード」の場合	進むの役割をします。
	「フルスクリーンモード」の場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーカスを移動します。</li> <li>・表示を右に移動します。</li> </ul>
	フォーカス／表示を画面単位で上下に移動します。	
	「戻る」の役割をします。WX300Kは表示したWebページの履歴を20件まで記録しており、すでに表示した前のページを表示することができます。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待受画面からOpera(WEB)メニューを表示します。</li> <li>・待受画面から長く(約1秒以上)押すと「ホーム」に設定されたページを表示します(「ホーム」に登録したWebページにアクセスする)187ページ)。</li> <li>・Webページ表示中に押すと、「スモールスクリーンモード」、「フルスクリーンモード」、または「ケータイモード」への切り替えができます(「Operaブラウザの表示モードを切り替える」182ページ)。</li> </ul>	
	CLUB AIR-EDGEなど、ウィルコムや携帯向けのページで、数字付きのメニューが表示されている場合は、該当項目を選択します。文字入力にも使用します。	
	「選択／決定」の役割をします。Webページ表示上で「OK」などのボタンが表示されている場合(画面下部中央のピクト表示が【選択】や【OK】となっている場合)やリンクなどにフォーカスを合わせた後に押す決定ボタンです。	
	表示画面はそのままでもオフラインになります。オフライン状態で再度  を押すと、Webページの表示を中止し、呼び出し元の画面に戻ります。	
	Webページ表示中に、画面下部左端の操作ガイド表示エリアが【戻る】や【中止】になっている場合に使用します。	
	Webページ表示中に、便利な操作ができるメニューを表示します。画面下部右端の操作ガイド表示エリアが【メニュー】などになっている場合に使用します。	

# インターネットの使いかた



- 「スモールスクリーンモード」、「ケータイモード」でWebページを表示しているときは、Webページ表示中のリンクやボタンなどが左右に並んでいる場合でも で選択します。
- は、以下のようなWebページ上の表示に対しての決定ボタンとしても操作できます。

テキストボックス	チェックボックス	ラジオボタン	プルダウンメニュー
で目的のテキストボックスを選択し、 【選択】 ▶ 文字を入力	で目的のチェックボックスを選択し、 【選択】	で目的のラジオボタンを選択し、 【選択】	で目的のプルダウンメニューを選択し、 【選択】 ▶ 項目を選択し、 【選択】

## Operaブラウザの表示モードを切り替える

Webページを表示中に、表示モードを切り替えます。表示モードは画面上のピクトの有無でお知らせします（「表示モード」179ページ）。

Webページ表示中に

- ▶ 「ケータイモード」、「フルスクリーンモード」、または「スモールスクリーンモード」を選択し、 【選択】



## ダウンロードのしかた

Operaブラウザからインターネット上の画像やメロディをダウンロードします。WX300Kに対応したファイル形式であれば、壁紙や着信メロディとしてご使用いただけます。

- ・ダウンロードしたデータは、データの種類に応じてデータフォルダに保存されます（「保存できるデータの種類」215ページ）。
- ・インターネット上の画像やメロディの著作権を保護する目的で、データの一部には以下のような使用上の制限が課せられている場合があります。
  - ・Opera接続中のみ再生が可能で、データフォルダへの保存はできない。
  - ・ダウンロードしデータフォルダへの保存は可能だが、データフォルダから転送やEメール添付して送信することはできない。
- ・WX300Kでは再生、利用できないデータもダウンロードできます。

データ種別	Operaブラウザで表示/再生できるファイル形式
画像	JPEG、GIF、BMP、PNG
メロディ	feelound(64和音)、MIDI (SMFフォーマット0/1対応)

例：Webページ上にあるMIDIデータをダウンロードする

ダウンロードしたいデータのあるWebページで

- (F2) [メニュー] ▶ 「保存」を選択し、● [選択] ▶ 「BGM」を選択し、  
● [選択] ▶ 保存BGM名を入力し、● [OK]

保存確認画面  
(MIDIの場合)



ファイル保存画面



#### ● ご注意

- インターネット上のコンテンツサービスやWebページの文章、画像、メロディデータなどは、一般に著作権法で保護されています。これらの内容は個人として楽しむ以外に、著作権者の承諾を得ずに、そのままあるいは変更して販売したり、再配布したりすることはできません。
- ダウンロードした画像のファイル形式によっては、WX300Kの最大表示色数で表示されない場合があります。また、WX300Kのディスプレイ性能により、画像ファイルの持つ色を完全に表現できない場合があります。
- MIDIの形式によっては、正しく再生できないものもあります。
- WX300Kに保存した画像、メロディ、ページやブックマークなどの登録内容は消えることがあります。万一、登録内容が消失した場合でも当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- すでにデータフォルダ内に保存されているデータと同様の名前のデータをダウンロードした場合は警告メッセージが表示されます。この場合はデータ名を編集して保存することができます（下記「お知らせ」参照）。

#### ● お知らせ

- Webページ上で、ダウンロードを目的とせずに掲載されている画像やBGMも保存できる場合があります（「Webページから保存する」191ページ）。
- 画像の場合は、画像そのものがサムネイル表示がリンクになっている場合があります。
- 保存確認画面の表示は、データの種類によって異なります。WX300Kで未対応のデータをダウンロードした場合や、音楽データへのリンクを選択したときは、保存確認画面で①「はい」を選択します。
- データを保存する際に、データ名が表示されます。このとき保存するデータ名をお好みに編集することができます。データ名の編集は、以下の手順で行います。  
ファイル保存画面でファイル名を編集し、● [OK]





## 表示中のWebページをブックマークに登録する

Webページを表示中に、表示しているページを「ブックマーク」に登録できます。繰り返しアクセスしたいお気に入りのページを登録しておくとう便利です。ブックマークは100件まで登録できます。登録したWebページは、次回から簡単な操作でアクセスすることができるようになります（「ブックマークに登録したWebページにアクセスする」187ページ）。

### Webページ表示中に

○ (F2) [メニュー] ▶ 「ブックマーク」を選択し、● [選択] ▶ 2. ● [ブックマーク登録] ▶ 各項目を設定 ▶ 「T」または「U」を選択し、● [登録]

以下の項目から選択します。

 (メモリ番号)	▶ メモリ番号 (0~99) を入力し、● [選択] メモリ番号を設定します。 設定時には、0~99で空いている一番小さいメモリ番号が自動的に表示されますが、メモリ番号を変更することもできます。
 フォルダ登録	▶ フォルダを選択し、● [選択] ブックマークに登録するフォルダを設定します。
 タイトル	▶ タイトルを入力または修正する ブックマークのタイトルを設定します。 現在表示中のWebページのタイトルが自動的に表示されますが、タイトルを変更することもできます。入力できる文字数は全角、半角共に40文字までです。
 URL	▶ URLを入力または修正する ブックマークのURLを設定します。 現在表示中のWebページのURLが自動的に表示されますが、URLを変更することもできます。入力できる文字数は半角255文字までです。

### ● ご注意

- すでに100件のブックマークが登録されている場合は、警告メッセージが表示された後、ブラウザ画面に戻ります。
- データフォルダに保存したWebページはブックマークに登録できません。

## 表示中のWebページを「ホーム」に登録する

表示中のWebページを「ホーム」に登録すると、次回インターネットにアクセスしたときに、「ホーム」に登録したWebページに直接アクセスすることができます（「「ホーム」に登録したWebページにアクセスする」187ページ）。

### Webページ表示中に

○ (F2) [メニュー] ▶ 「設定」を選択し、● [選択] ▶ 5. ● [ホーム設定] ▶ ● [選択] ▶ URLを確認し、● [OK]

### ● ご注意

- データフォルダに保存したWebページを表示している場合は、ホームに登録することはできません。

### お知らせ


- URL確認画面で、直接「ホーム」のアドレスを入力することもできます。



お買い上げ時：  
「京セラオリジナル  
サイト「K」」



## Webページ上の情報を利用する







表示しているWebページ上にURLのリンクがある場合、そのURLを選択して  【選択】 を押すと、そのURLにジャンプします。Webページ上にEメールアドレスや電話番号のリンクがある場合には以下のように操作します。

### Webページ表示中に

電話番号またはEメールアドレスへのリンクを選択し、  【選択】

#### ■Eメールアドレスの場合









以下の項目から選択します。

Eメール作成	 【選択】 を押す	Web表示を中断し、リンク先のEメールアドレスに対してEメールを新規作成します（「Eメールを作成して送信する」142ページ）。
アドレス帳登録	新規登録	新しくアドレス帳データを作成します（「アドレス帳の各項目を登録する」120ページ）。
	追加登録	 アドレス帳を選択し、  【OK】  (F1) 【登録】  「はい」を選択し、  【選択】 すでに登録されているアドレス帳データに、Eメールアドレスを追加登録します。

上記項目の利用後は、Webページ表示画面に戻ります。


#### ■電話番号の場合

以下の項目から選択します。

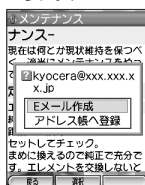
 発信	リンク先の電話番号に電話をかけます。
 184発信*	リンク先の電話番号に184発信（自分の電話番号を通知しない）します。
 186発信*	リンク先の電話番号に186発信（自分の電話番号を通知する）します。
 分計発信*	リンク先の電話番号に料金分計サービスを利用して電話をかけます（「料金分計サービスについて」280ページ）。
 184分計発信*	リンク先の電話番号に、184発信（自分の電話番号を通知しない）と料金分計サービスを利用して電話をかけます（「料金分計サービスについて」280ページ）。
 186分計発信*	リンク先の電話番号に、186発信（自分の電話番号を通知する）と料金分計サービスを利用して電話をかけます（「料金分計サービスについて」280ページ）。
 ライトメール作成	リンク先の電話番号を宛先としたライトメールを作成します（「ライトメールを作成して送信する」148ページ）。
 アドレス帳へ登録	リンク先の電話番号をアドレス帳に登録します（「アドレス帳に登録する」120ページ）。

\*：電話発信に関するメニューは表示されない場合があります。

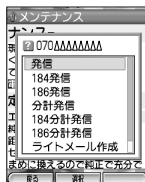
位置情報通知機能のL機能（265ページ）が「ON」に設定され、Webページが位置情報を要求している場合は、位置情報付き電話番号リンクメニュー画面が表示されます。発信を行うと、通話先に位置情報が通知されます。上記項目の利用後は、Webページ表示画面に戻ります。

リンク先の電話番号に電話をかけたとき、 を押すことに通話中の画面とWebページの画面を切り替えることができます。ただし、通話中に画面をWebページに切り替えても、Web操作は行えません。

#### Eメールアドレスリンクメニュー



#### 電話番号リンクメニュー





## 「ホーム」に登録したWebページにアクセスする（ホーム）

「ホーム」に登録したWebページにアクセスします。「ホーム」には、お買い上げ時に「京セラオリジナルサイト"K"」が登録されていますが、お客様のお好みで変更することができます（「表示中のWebページを「ホーム」に登録する」184ページ）。

待受画面で

🔍を長く（約1秒以上）押す

🔔お知らせ

●「ホーム」に設定したページにアクセスするには、以下の手順でも行えます。

メインメニューからアクセスする場合	▶ 待受画面で🔍【メニュー】 ▶ 「Opera(WEB)」を選択し、 🔍【選択】 ▶ 「ホーム」を選択し、🔍【選択】
Opera(WEB)メニューからアクセスする場合	▶ 待受画面で🔍 ▶ ②🔍「ホーム」
Webページ表示中にアクセスする場合	▶ Webページ表示中に🔍 (F2)【メニュー】 ▶ 「移動」を選択し、🔍【選択】 ▶ ②🔍「ホーム」

## ブックマークに登録したWebページにアクセスする（ブックマーク一覧）

ブックマークに登録したWebページは、「ブックマーク一覧」（195ページ）で一覧表示し、選択して接続することができます。

待受画面で

🔍 ▶ ③🔍【ブックマーク】 ▶ フォルダを選択 ▶ ブックマークを選択し、🔍【接続】

🔔お知らせ

● Webページ表示中に、ブックマーク一覧を呼び出してアクセスするには、以下の手順で行います。

Webページ表示中に🔍 (F2)【メニュー】 ▶ 「ブックマーク」を選択し、🔍【選択】 ▶

①🔍【ブックマーク一覧】 ▶ フォルダを選択 ▶ ブックマークを選択し、🔍【接続】





## URLを入力または入力履歴からアクセスする (URL入力)







URLを直接入力し、Webページにアクセスすることができます。WX300Kから入力したURLの履歴は20件まで記録されています。その履歴を使ってアクセスしたり、履歴を編集してアクセスしたりすることもできます。

- ・URLに入力できる文字数は、半角255文字までです。
- ・URL入力画面では、「http://」は省略して入力することもできます。

### 待受画面で

#### 4.5 URL入力

以下の項目から選択します。

URLを新たに入力する場合	▶ 「新規作成」を選択し、  【選択】 ▶ URLを入力し、  【接続】
履歴をそのまま使う場合	▶ 一覧から履歴を選択し、  【選択】 ▶  【接続】
履歴を編集する場合	▶ 一覧から履歴を選択し、  【選択】 ▶ URLを編集し、  【接続】







### URL履歴一覧画面










### URL入力画面



### お知らせ

- Webページ表示中にURLを入力して他のページにアクセスするには、以下の手順で行います。  
Webページ表示中に  (F2) 【メニュー】 ▶ 「移動」を選択し、 【選択】 ▶  「URL入力」 ▶ 「新規作成」を選択し、 【選択】 ▶ URLを入力し、 【接続】
- URL入力履歴が20件を超えると、古い履歴から自動的に削除されます。  
また、URL履歴一覧画面で任意に削除するには、以下の手順で行います。  
URL履歴一覧画面で履歴を選択 ▶  (F2) 【メニュー】

以下の項目から選択します。

1件削除	▶ 「はい」を選択し、  【選択】 選択した履歴を削除します。
選択削除	▶ 履歴を選択し、  【選択】 ▶ 複数選択後、  (F2) 【削除】 ▶ 「はい」を選択し、  【選択】 複数の履歴を選択して削除します。一度選択した履歴は、  (F2) 【削除】を押す前であれば、カーソルを合わせて  【解除】で選択を解除できます。
全件削除	▶ 暗証番号を入力 ▶ 「はい」を選択し、  【選択】 履歴をすべて削除します。

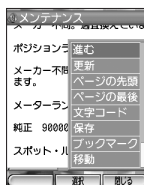
## ● Webページ表示中の操作

Webページ表示中にはメニューからさまざまな操作ができます。

Webページ表示中に

○ (F2) [メニュー] を押す

Webページ表示中のメニュー



以下の項目から選択します。

進む	Webページ履歴の、次のページに進みます。			
更新	表示しているWebページを最新の状態に更新します（「Webページを最新の状態に更新する」194ページ）。			
ページの前頭	表示しているWebページの前頭に表示を移動します（「Webページの前頭/最後を表示する」194ページ）。			
ページの後頭	表示しているWebページの後頭に表示を移動します（「Webページの前頭/最後を表示する」194ページ）。			
文字コード	▶ 以下から選択し、●【選択】			
お買い上げ時： 「自動選択」	自動選択	Shift-JIS	EUC-JP	ISO-2022-JP
	通常は「自動選択」をご利用いただけますが、Webページによっては表示文字が文字化けを起してしまう場合があります。その際は、文字コードを変更してください。文字コードの設定は表示しているページにのみ適用され、ブラウザを終了したり、他のページを表示したりすると「自動選択」に戻ります。			
保存	表示しているWebページ、Webページの背景画像、選択したWebページ上の画像、またはBGMをWX300Kに保存します（「Webページから保存する」191ページ）。			
ブックマーク	①② ブックマーク一覧	ブックマーク一覧を表示し、一覧から登録しているWebページにアクセスします（「ブックマークに登録したWebページにアクセスする」187ページ）。		
	②③ ブックマーク登録	現在表示しているページをブックマーク一覧に追加します（「表示中のWebページをブックマークに登録する」184ページ）。		
移動	表示しているWebページから他のページにアクセスしたり、Webページ内の検索などを行うことができます（「Webページから移動する」193ページ）。			
ページ情報	①② URL表示	表示しているWebページについて以下の情報を表示します。 ・ページタイトル（全角、半角共に40文字まで） ・URL（全角255文字まで） ・ページ全体サイズ		
	②③ サーバー証明書	アクセスしたWebページ（サーバー）に登録されているCA証明書の詳細を表示します。SSL対応ページにアクセスしている場合のみ有効です。		
設定	Operaブラウザの環境設定をします（「インターネット表示中の環境設定」200ページ）。			










## Webページから保存する（保存）

Webページに表示されている画像やBGM、また、Webページ全体を保存します。Webページはデータフォルダの「インターネット」に保存され、インターネットに接続しないで表示することができます。

Webページ表示中のメニューで

「保存」を選択し、 「選択」

以下の項目から選択します。

① ページ（全体）	▶ 保存ページ名を入力または修正し、  【OK】 Webページを保存します。保存したWebページは「保存ページ」からインターネットに接続せずに表示できます。
② 画像	▶ 画像を選択し、  【保存】 ▶ 保存画像名を入力または修正し、  【確定】 表示しているWebページ内の画像を選択し、保存します。Webページ中に画像がある場合にのみ有効です。また、画像の拡張子として認識できない場合もあります。 ・画像の選択中は、Webページ上のリンクが無効になり、他の操作ができない状態になります。また、通常のWebページ表示での操作とは以下のような違いがあります。
	 (F1) 【キャンセル】、  通常のWebページ表示に戻ります。
	  Webページ上にある画像を上から下に、左から右に順番に選択します。
③ 背景画像	▶ 保存画面名を入力し、  【確定】 表示しているWebページの背景画像を保存します。Webページ中に背景画像がある場合にのみ有効です。
④ BGM	▶ 保存BGM名を入力または修正し、  【OK】 表示しているWebページのBGMを保存します。Webページ上にBGMがある場合のみ有効です。

### ご注意

- Webページを保存する場合も含め、著作権法で保護された画像やメロディは保存できないことがあります。保存できた場合でも、Eメールに添付したり、データ転送でパソコンに送信することはできません。
- データフォルダの空き容量が足りない場合は、エラーメッセージが表示されます。不要なデータを削除して空き容量を確保してください（「データフォルダの空き容量が足りなくなったとき」220ページ）。また、すでに同じ名前のデータがある場合は、警告メッセージが表示されます。
- この機能で保存を行う場合は、Webページ上のリンク先データのダウンロードはできません。

### お知らせ

- Webページの保存では、Opera(WEB)設定で「画像表示」や「BGM再生」が「OFF」になっている場合は画像やBGMが表示／再生されない状態で保存されます（「Operaブラウザの環境設定」199ページ）。  
・「スモールスクリーン」で表示している場合、Webページの保存時に表示しているフレームに関係なく、Webページを構成するすべてのフレームが保存されます。  
・保存できるファイル形式は、以下のようになります。

画像	BMP、JPEG、GIF、PNG（GIFアニメも保存可能です）
BGM	DXM、MIDI

- 「スモールスクリーンモード」や「ケータイモード」で縮小表示された画像や、「ズーム」（200ページ）で拡大／縮小した画像は、元の大きさで保存されます。

## 保存ページから表示する（保存ページ）

### ■ 保存ページを表示する

保存したページはデータフォルダの「インターネット」に保存されており、インターネットに接続することなく、Webページを表示することができます。表示した場合も、ブラウザのキャッシュには保存されません。

#### 待受画面で

  「保存ページ」 ▶ 表示したい保存ページを選択し、 【再生】

データフォルダ画面  
(インターネット)







#### ご注意



● 保存ページは、保存した時点でのWebページです。このため、最新の情報ではない場合があります。

#### お知らせ







● データフォルダから保存ページを表示するには、以下の手順で行います。

待受画面で  【メニュー】 ▶ 「データフォルダ」を選択し、 【選択】 ▶ 「インターネット」を選択し、 【選択】 ▶ 保存ページを選択し、 【再生】

● データフォルダ画面（インターネット）で一覧から保存ページを削除するには、以下の手順で行います。

データフォルダ画面（インターネット）で保存ページを選択 ▶  (F2) 【メニュー】 ▶ 「削除」を選択し、 【選択】

以下の項目から選択します。

1件	▶ 「はい」を選択し、  【選択】 選択した保存ページを削除します。
選択	▶ 暗証番号を入力 ▶ 複数選択後、  (F1) 【削除】 ▶ 「はい」を選択し、  【選択】 複数の保存ページを選択して削除します。一度選択した保存ページは、  (F1) 【削除】を押す前であれば、カーソルを合わせて  【解除】で選択を解除できます。
フォルダ	▶ 暗証番号を入力 ▶ 「はい」を選択し、  【選択】 保存ページをすべて削除します。



## Webページから移動する（移動）

Webページ表示中に他のページにアクセスすることができます。



Webページ表示中のメニューで

「移動」を選択し、【選択】

移動画面



以下の項目から選択します。

① 公式サイト	CLUB AIR-EDGEにアクセスします（「Operaブラウザを起動し、CLUB AIR-EDGEにアクセスする」180ページ）。
② ホーム	「ホーム」に登録したページにアクセスします（「「ホーム」に登録したWebページにアクセスする」187ページ）。
③ URL入力	URLを入力してアクセスします。入力履歴を利用することもできます（「URLを入力または入力履歴からアクセスする」189ページ）。入力欄には、現在表示しているWebページのURLが表示されます。
④ ページ内検索	<p>◆ キーワードを入力し、【OK】</p> <p>キーワードを入力し、表示中のWebページ上から入力したキーワードと同様の単語／文章を検索します。キーワードとして入力できる文字数は全角、半角共に128文字までです。</p>
⑤ フレーム切替	<p>◆ フレームを選択し、【選択】</p> <p>「フルスクリーンモード」または「スモールスクリーンモード」で表示しているとき、Webページがフレームで分割されている場合、表示するフレームを選択します。</p>



### お知らせ

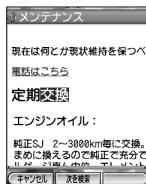
- 検索の操作をしている間は、Webページ上のリンクが無効になり、他の操作ができない状態になります。
- ページ内検索は現在のリンク位置から行います。

次を検索したい場合は、以下の手順で行います。

検索結果表示画面で【次を検索】を押す

ページ内検索を中止したいときは、（F1）【キャンセル】を押します。

（例：検索結果表示画面）



## Webページを最新の状態に更新する（更新）

表示しているWebページを最新の状態に更新します。

Webページ表示中のメニューで

「更新」を選択し、【選択】

## Webページの先頭／最後を表示する

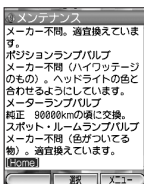
Webページ表示中のメニューで

「ページ先頭」または「ページの最後」を選択し、【選択】

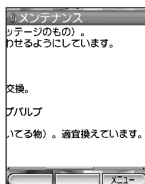


- 「ケータイモード」／「スモールスクリーンモード」の場合は、一番上の表示が先頭、一番下が最後となります。「フルスクリーンモード」の場合は、ページ全体の左上端の表示範囲が先頭になり、右下端の表示範囲が最後となります。

「ケータイモード」／「スモールスクリーンモード」の場合







「フルスクリーンモード」の場合



## 表示フレームを選択する

Webページによってはフレームで分割されている場合があります。「フルスクリーンモード」、または「スモールスクリーンモード」の場合、Webページを構成するフレームを最大10個まで認識し、表示するフレームを切り替えることができます。

移動画面で

「フレーム切替」▶ 1▶～9▶、0▶（フレーム番号を選択）

## ● ブックマーク一覧について

「ブックマーク一覧」には、ブックマークを100件まで登録できます。これらは、任意に名前を付けることができる20個のフォルダに振り分けて管理することができます。また、登録したブックマークは、編集や削除などを行なうことができます。

### ブックマーク一覧を表示する

「ブックマーク一覧」は、待受画面からも、Webページ表示中にも表示できます。

待受画面から表示する	▶ 待受画面で④ ▶ ③② 「ブックマーク」
Webページ表示中に表示する	▶ Webページ表示中に① (F2) 【メニュー】 ▶ 「ブックマーク」を選択し、② 【選択】 ▶ ①② 「ブックマーク一覧」

### ブックマークの詳細を表示する

「ブックマーク一覧」では、ページタイトルでブックマークが一覧表示されます。実際にアクセスするURLなどの詳細は、以下の手順で表示することができます。

#### ブックマーク一覧画面で

ブックマークを選択 ▶ ① (F2) 【メニュー】 ▶ 「詳細表示」を選択し、② 【選択】



- ブックマーク詳細表示画面で③ 【接続】を押すと、ブックマークに登録されているURLに接続します。

ブックマーク  
詳細表示画面



## ブックマークメニューで管理する（ブックマーク選択時のメニュー）

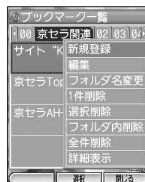
ブックマーク一覧で、ブックマークを選択しているときには、ブックマークの編集や削除などの管理ができます。

ブックマーク一覧画面で

ブックマーク一覧画面のメニュー

ブックマークを選択 ▶  (F2) [メニュー]

以下の項目から選択します。



新規登録	新しくブックマークを登録します（「表示中のWebページをブックマークに登録する」184ページ）。
編集	ブックマークを編集します。フォルダ間の移動もできます（「ブックマークを編集する」197ページ）。
フォルダ名変更	選択したフォルダのフォルダ名を変更します（「フォルダ名を変更する」197ページ）。
1件削除	選択したブックマークを削除します（「ブックマークを1件ずつ削除する」198ページ）。
選択削除	ブックマークを複数選択して削除します（「ブックマークを複数選択して削除する」198ページ）。
フォルダ内削除	フォルダ内のブックマークを削除します（「フォルダ内の全件を削除する」198ページ）。
全件削除	すべてのブックマークを削除します（「ブックマークをすべて削除する」198ページ）。
詳細表示	ブックマークの詳細を表示します（「ブックマークの詳細を表示する」195ページ）。



- 「新規登録」を選択したときは、URLを入力する必要があります。ブックマークの編集と同様の手順で必要項目を入力してください（「ブックマークを編集する」197ページ）。















## ■ブックマークを編集する

ブックマークのメモリ番号、登録先フォルダ、タイトル、URLを編集します。


### ブックマーク一覧画面のメニューで

【編集】を選択し、【選択】

以下の項目から選択します。

 (メモリ番号)	  【選択】  メモリ番号 (0~99) を編集し、  【選択】 メモリ番号を編集します。登録時には、0~99で空いている一番小さいメモリ番号が自動的に表示されていますが、メモリ番号を変更することもできます。メモリ番号は「スピードOpera機能」でのアクセスに利用できます（「ブックマークを利用して素早くアクセスする」188ページ）。
 フォルダ登録	 フォルダを選択し、  【選択】 登録先フォルダを選択します。登録先フォルダを編集すると、ブックマークをお好みのフォルダに移動できます。
 (タイトル)	 タイトルを編集し、  【登録】 ブックマークのタイトルを編集します。入力できる文字数は全角、半角共に40文字までです。
 (URL)	 URLを編集し、  【登録】 URLを編集します。入力できる文字数は半角255文字までです。

### ご注意

- 同一メモリ番号を複数のブックマークに付けることはできません。
- 入力したタイトル/URLのブックマークが、同一フォルダ内ですでにある場合は、「No.XXに同じ内容が登録済みです No.△△に登録しますか?」と表示されます。すでにあるタイトル/URLを置き換えて登録するには、上書き確認画面で「はい」を選択し、 【OK】を押します。

## ■フォルダ名を変更する

ブックマーク一覧のフォルダ名は、お好みの名前に変更することができます。

### ブックマーク一覧画面のメニューで

【フォルダ名変更】を選択し、 【選択】  フォルダ名を修正し、 【確定】

### お知らせ

- 入力できる文字数は全角、半角共に20文字までです。

### ブックマーク 編集画面



お買い上げ時：  
「おすすめ」  
「京セラ関連」  
「02」～「19」

## ブックマークを削除する




ブックマーク一覧から、不要になったブックマークを削除します。

### ご注意

- お買い上げ時に登録されているブックマークも削除できます。「メモリリセット」(250ページ)を行うと、ブックマークはお買い上げ時の状態に戻ります。



## ■ ブックマークを1件ずつ削除する (1件削除)

### ブックマーク一覧画面で

削除したいブックマークを選択 ▶  (F2) [メニュー] ▶ 「1件削除」を選択し、 [選択] ▶ 「はい」を選択し、  
 [選択]



## ■ ブックマークを複数選択して削除する (選択削除)

### ブックマーク一覧画面で

ブックマークにカーソルを合わせる ▶  (F2) [メニュー] ▶ 「選択削除」を選択し、 [選択] ▶

削除したいブックマークを選択し、 [選択] ▶ 複数選択後、 (F2) [削除] ▶ 「はい」を選択し、 [選択]

### お知らせ

- 一度選択したブックマークは、 (F2) [削除] を押す前であれば、カーソルを合わせて [解除] で選択を解除できます。

## ■ フォルダ内の全件を削除する (フォルダ内削除)

### ブックマーク一覧画面で

まとめてブックマークを削除したいフォルダを選択 ▶  (F2) [メニュー] ▶ 「フォルダ内削除」を選択し、  
 [選択] ▶ 暗証番号を入力 ▶ 「はい」を選択し、 [選択]

## ■ ブックマークをすべて削除する (全件削除)

### ブックマーク一覧画面で

 (F2) [メニュー] ▶ 「全件削除」を選択し、 [選択] ▶ 暗証番号を入力 ▶ 「はい」を選択し、 [選択]

# ● Operaブラウザの環境設定

## Opera(WEB)メニューからの環境設定 (設定)

インターネットにアクセスする前に、あらかじめOpera(WEB)メニューから環境設定を行うことができます。

待受画面で

▶ 「設定」

以下の項目から選択します。

設定メニュー  
(Opera(WEB)  
メニュー時)



<p>①.① 画像表示</p> <p>お買い上げ時： 「ON」</p>	<p>▶ 「ON」または「OFF」を選択し、 【選択】</p> <p>Webページ上の画像を表示するかどうかを選択します。</p>	
<p>②.② BGM再生</p> <p>お買い上げ時： 「ON」</p>	<p>▶ 「ON」または「OFF」を選択し、 【選択】</p> <p>Webページ上のBGMを再生するかどうかを選択します。マナーモード（229ページ）の場合は設定に関わらずBGMは再生しません。「ON」に設定しても、アプリケーションを必要とするBGMの場合は再生できません。</p>	
<p>③.③ Cookie利用</p> <p>お買い上げ時： 「する」</p>	<p>▶ 「する」または「しない」を選択し、 【選択】</p> <p>Cookieとは、Webページに訪れたお客様に関する情報や、訪れた日時、訪問回数などを一時的に保存しておくくみです。サーバーからお客様のWX300Kに書き込まれて一時的に保存され、コンテンツサービスなどに利用されます。Webページやコンテンツサービスによっては「ON」に設定していないと、正常に表示/利用できない場合があります。</p>	
<p>④.④ JavaScript</p> <p>お買い上げ時： 「ON」</p>	<p>▶ 「ON」または「OFF」を選択し、 【選択】</p> <p>JavaScriptとは、Webページに動きや対話性を付加するためのスクリプト言語です。Webページによっては「ON」にしないと正常に表示されない場合があります。</p>	
<p>⑤.⑤ 通信設定</p>	<p>①.② ダイアルアップ設定</p>	<p>ダイアルの設定の詳細は、「ダイアルアップを設定/編集する」(202ページ)の手順2、3をご参照ください。</p>
	<p>②.② 接続モード切替</p>	<p>接続モード切替の詳細は、「インターネット接続アカウントを切り替える」(204ページ)の表をご参照ください。</p>
<p>⑥.⑥ CA証明書</p> <p>お買い上げ時： すべて「有効」</p>	<p>詳細を表示する場合</p>	<p>▶ CA証明書を選択し、 【詳細】</p>
	<p>有効を設定する場合</p>	<p>▶ CA証明書を選択  (F2) 【メニュー】 ▶ 「有効」を選択し、 【選択】</p>
	<p>無効を設定する場合</p>	<p>▶ CA証明書を選択  (F2) 【メニュー】 ▶ 「無効」を選択し、 【選択】 ▶ 「はい」を選択し、 【OK】</p>
	<p>SSL (Secure Sockets Layer) やTLS (Transport Layer Security) に対応したページにアクセスするために必要なCA証明書の内容を確認したり、CA証明書の有効/無効を設定することができます。</p>	
<p>⑦.⑦ 設定リセット</p>	<p>ブラウザの環境設定をお買い上げ時の状態にリセットします（「ブラウザの設定をリセットする」201ページ）。</p>	

## お知らせ

- 各設定は、Operaブラウザを終了しても保持され、次回起動時にも適用されます。変更またはリセットされるまで保持されます。
- Webページ上に画像や音声に対する直接のリンクがあり、そのリンク先ページにアクセスした場合は、「画像表示」や「BGM再生」を「OFF」にしていても、リンク先で画像や音声を表示／再生します。このようにして画像や音声を表示／再生したページに、「戻る」／「進む」でアクセスした場合には、設定が「OFF」であれば表示／再生されません。

## インターネット表示中の環境設定（設定）

インターネット表示中には、メニューから環境設定ができます。インターネット表示中のみ設定できる項目もあります。

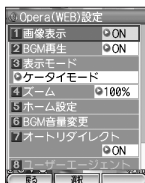
### Web表示中に

○ (F2) [メニュー] ▶ 「設定」を選択し、● [選択]

以下の項目から選択します。

<p>1. 画像表示</p> <p>お買い上げ時： 「ON」</p>	<p>▶ 「ON」または「OFF」を選択し、● [選択]</p> <p>Webページ上の画像を表示するかどうかを選択します。</p>
<p>2. BGM再生</p> <p>お買い上げ時： 「ON」</p>	<p>▶ 「ON」または「OFF」を選択し、● [選択]</p> <p>Webページ上のBGMを再生するかどうかを選択します。マナーモード（229ページ）の場合は設定に関わらずBGMは再生しません。「ON」に設定しても、アプリケーションを必要とするBGMの場合は再生できません。</p>
<p>3. 表示モード</p> <p>お買い上げ時： 「ケータイモード」</p>	<p>▶ 「ケータイモード」、「フルスクリーンモード」、または「スマールスクリーン」を選択し、● [OK]</p> <p>表示モードを切り替えます（「表示モード」179ページ）。</p>
<p>4. スーム</p> <p>お買い上げ時： 「100%」</p>	<p>▶ 以下の項目から選択し、● [選択]</p> <p>「50%」「80%」「90%」「100%」「120%」「150%」「200%」</p> <p>指定されたサイズにWebページを拡大／縮小して表示します。</p>
<p>5. ホーム設定</p> <p>お買い上げ時： 「京セラオリジナルサイト "K"」</p>	<p>▶ URLを入力または修正し、● [OK]</p> <p>「ホーム」にWebページを登録します。</p>
<p>6. BGM音量変更</p> <p>お買い上げ時： 「音量3」</p>	<p>▶ 「音量レベル 1」～「音量レベル 5」または「OFF」から選択し、● [OK]</p> <p>Webページ上のBGM再生音量を選択します。マナーモードの場合は設定に関わらずBGMは再生しません。ブラウザ終了時「音量3」に戻ります。ブラウザ起動中は、設定した音量で再生します。</p>

### 設定メニュー (Web表示中)





<b>7.5 オートリダイレクト</b> <b>お買い上げ時： 「ON」</b>	▶ 「ON」 または 「OFF」 を選択し、 <b>●【選択】</b> 「リフレッシュ」と「リダイレクト」の有効/無効を設定します。
<b>8.4 ユーザーエージェント</b> <b>お買い上げ時： 「WILLCOM」</b>	▶ 「WILLCOM」 または 「Opera」 を選択し、 <b>●【選択】</b> ページが表示されなかったときのユーザーエージェントを「WILLCOM」または「Opera」に切り替えます。「ケータイモード」のときは「WILLCOM」固定となります。
<b>9.5 JavaScript</b> <b>お買い上げ時： 「ON」</b>	▶ 「ON」 または 「OFF」 を選択し、 <b>●【選択】</b> JavaScriptとは、Webページに動きや対話性を付加するためのスクリプト言語です。Webページによっては「ON」にしないと正常に表示されない場合があります。



- 各設定は、特別に記載しているもの以外、Operaブラウザを終了しても保持され、次回起動時にも適用されます。変更またはリセットされるまで保持されます。
- 3.5**「表示モード」を「ケータイモード」に設定し、**7.5**「オートリダイレクト」を「ON」に設定した場合、「リフレッシュ」は無効、「リダイレクト」は有効になります。

## ブラウザの設定をリセットする

ブラウザの環境設定をリセットします。

待受画面で

**4** ▶ **8.4** 「設定」 ▶ **7.5** 「設定リセット」 ▶ 暗証番号を入力



- リセットされるブラウザの環境設定は、Webページ表示中のみ設定できる項目も含まれており、以下のようにリセットされます。また、Cookieの内容も削除されます。

	初期値
画像表示	ON
BGM再生	ON
Cookie利用	する
JavaScript	ON
CA証明書	すべての証明書が有効
表示モード	ケータイモード
ズーム	100%
ホーム設定	京セラオリジナルサイト"K"
オートリダイレクト	ON

設定メニュー  
(ブラウザメニュー時)



## ●ダイヤルアップを設定する

WX300Kは、一般のプロバイダからWebページに接続したり、お客様の会社などのネットワークに接続することができます。

- ・別途、一般プロバイダとのご契約が必要です。ダイヤルアップ設定につきましては、各プロバイダにお問い合わせください。
- ・プロバイダ側がAIR-EDGEに対応しているかご確認ください。詳しくはプロバイダにお問合せください。

### ● ご注意

- ダイヤルアップは、Eメールのアカウントとは別に設定する必要があります。

## ダイヤルアップを設定／編集する

機能番号68

ダイヤルアップの設定は、ご契約のプロバイダから取得した情報をもとに、以下の手順で行います。WX300Kでは最大2つまでの追加アカウントを登録しておくことができます。

### 待受画面で

ダイヤルアップ  
設定画面

- 1 【メニュー】 ▶ 【機能】を選択し 【選択】 ▶ 【6. その他の設定】 ▶
- 【8. ダイヤルアップ設定】



- 2 【1. 接続先1】、 【2. 接続先2】、または 【3. CLUB AIR-EDGE】

以下の項目から選択します。

1. 接続先名称	ダイヤルアップ接続先にお好みの名前を付けることができます。入力できる文字数は全角、半角共に16文字までです。	
2. 電話番号	ダイヤルアップ接続するアクセスポイントの電話番号を入力します。入力できる桁数は32桁までです。ご利用のデータ通信方式に合わせ、下記のとおり電話番号の末尾に付加番号を入力してください。 # # 61 (1x/パケット方式) # # 64 (2x/4x/パケット方式) # # 7 (フレックスチェンジ方式) # # 4 (64kPIAFS) # # 3 (32kPIAFS)	
3. ユーザーID	接続時に使用するログイン名(ユーザーID)を入力します。入力できる文字数は半角64文字までです。	
4. パスワード	接続時に使用するパスワードを入力します。入力できる文字数は128文字までです。記号の入力については「記号を入力する」(112ページ)をご参照ください。	
5. 分計発信 お買い上げ時： 「OFF」	▶ 「ON」 または 「OFF」 を選択し、 【選択】 分計発信するかどうかの設定をします。(料金分計サービスについて)280ページ)。ただし、パケット方式では、分計発信を行うことができません。	
6. 詳細設定	1. IPアドレス自動取得	ON   サーバーからIPアドレスを自動取得します。
	お買い上げ時： 「ON」	OFF   プロバイダから割り当てられたIPアドレスを入力します。
	2. IPアドレス	IPアドレス自動取得を「OFF」にした場合、ここにIPアドレスを入力します。
	3. DNS自動取得	ON   サーバーからDNSアドレスを自動取得します。
	お買い上げ時： 「ON」	OFF   プライマリDNSとセカンダリDNSを設定します。

	(4.2) プライマリDNS	DNS自動取得を「OFF」にした場合、プライマリDNSアドレスを設定します。
	(5.2) セカンダリDNS	DNS自動取得を「OFF」にした場合、セカンダリDNSアドレスを設定します。
(7.2) プロキシ設定	(1.2) プロキシ利用 お買い上げ時： 「OFF」	▶ 「ON」または「OFF」を選択し、 <input checked="" type="radio"/> 【選択】
	(2.2) プロキシサーバ名	プロキシ利用を「ON」にした場合、プロキシサーバ名を入力します。入力できる文字数は半角64文字までです。
	(3.2) プロキシポート番号	プロキシ利用を「ON」にした場合、プロキシポート番号を入力します。
	(4.2) プロキシ認証 お買い上げ時： 「OFF」	▶ 「ON」または「OFF」を選択し、 <input checked="" type="radio"/> 【選択】 プロキシ利用を「ON」にした場合、プロキシ認証を「ON」または「OFF」に設定します。
	(5.2) プロキシID	プロキシ認証を「ON」にした場合、プロキシIDを入力します。入力できる文字数は半角64文字までです。
	(6.2) プロキシパスワード	プロキシ認証を「ON」にした場合、プロキシパスワードを入力します。入力できる文字数は128文字までです。
(8.2) ヘルプ*	(電話番号)	ウィルコムサービスセンターに電話をかけます。
	(Eメールアドレス)	ウィルコムサービスセンターを宛先としたEメール作成画面が表示されます（「Eメールを作成して送信する」142ページ）。

\*：(8.2)「ヘルプ」は(3.2)「CLUB AIR-EDGE」を選択したときのみ表示されます。また、電話番号/Eメールアドレスは「なし」が表示される場合があります。

#### ご注意

- 「CLUB AIR-EDGE」の編集については、今後のサービス向上のため、アクセスポイントの電話番号やプロキシ設定に変更のご連絡があった場合のみ編集を行ってください。

#### お知らせ

- 手順2で(3.2)「CLUB AIR-EDGE」を選択時に編集できる項目は(2.2)「電話番号」、(5.2)「分計発信」、(7.2)「プロキシ設定」のみです。

### 3 各項目を入力し、 (F1)【登録】

## インターネット接続アカウントを切り替える（接続モード切替） 機能番号69

WX300Kでは複数のインターネット接続アカウントを登録しておき、切り替えて利用することができます。

待受画面で

●【メニュー】 ▶ 【機能】を選択し、●【選択】 ▶ 6.は ●【その他の設定】 ▶ 9.を ●【接続モード切替】

以下の項目から選択します。

1.使用モード お買い上げ時： 「モード3」	▶ モード1～3を選択し、●【選択】	
2.詳細表示	▶ モード1～3を選択し、●【選択】 以下の項目から選択します。	
	1.接続モード名称	モードの名称を入力します。 入力できる文字数は16文字までです。
	2.Opera(WEB)接続先	ブラウザの接続先を「接続先1～3」の中から選択します。
	3.メール接続先	メール接続先を「接続先1～3」の中から選択します。
	4.送信メールアカウント	メールを送信するアカウントを選択します（「送信アカウントを選択する」174ページ）。
5.受信メールアカウント	メールを受信するアカウントを選択します（「受信アカウントを選択する」175ページ）。	
3.設定リセット	▶ 暗証番号を入力 ▶ 「はい」を選択し、●【選択】 接続モード切替設定をお買い上げ時の状態に戻します。	